

# 実績紹介

## 総合内科

### 【平成 24 年度 症例検討会開催状況】

回	日時	テーマ	発表者	疾患	参加者				
					計	診療局	他	外部	学生
第 8 回	5/30	両手足の浮腫および関節痛をきたした高齢男性の 1 例	橋本 善隆	RS3PE	29	20	8	-	1
第 9 回	8/29	発熱、咽頭痛、関節痛を主訴に紹介受診した 40 歳代女性の 1 例	菅原 翔	成人 Still 疾患	49	28	17	4	0
第 10 回	12/5	褐色尿に気づき来院した高齢男性の 1 例	岩井 直人	自己免疫性肝炎	29	24	5	0	0
第 11 回	3/6	頸部痛、発熱をきたした高齢女性の 2 例	板垣 典子	PMR/ crowned dens syndrome	28	18	10	0	0

※場所：第 8 回 大津市民病院 会議室 A(本館棟 9F)  
 第 9～11 回 大津市民病院 会議室 A/B(本館棟 9F)

## 内科

### 【平成 24 年度の主な診療実績】

糖尿病・内分泌		
糖尿病教育入院	104 例	
副腎静脈サンプリング	21 例	
腎 臓		
腎生検	31 例	
血液浄化療法実施回数	8,260 回	
血 液		
骨髄穿刺	94 例	
化学療法	入院(延べ)	517 件
	外来(延べ)	209 件

(新規透析導入 17 例)

## 【平成 24 年度の業績報告】

### <学会発表>

1. 石井通予、橋本善隆、磯野元秀、久保聡一、灰谷崇夫、佐野剛視、七里泰正、西本紘嗣郎、向井邦晃  
「血圧コントロールに片側副腎摘出術が有効であった治療抵抗性両側性原発性アルドステロン症の 1 例」  
第 85 回日本内分泌学会学術総会  
平成 24 年 4 月 19 日 於:名古屋
2. 橋本善隆、新美美貴子、石井通予、神内謙至、橘強、中右雅之、加納正人、柳橋健、磯野元秀、濱田新七、市場文功、青木悦雄  
「術前に診断し得なかった傍神経節腫瘍の 2 例」  
第 85 回日本内分泌学会学術総会  
平成 24 年 4 月 19 日 於:名古屋
3. 浅野麻衣、長谷川剛二、小林香苗、岩瀬広哉、岡田博史、稲田しのぶ、千丸貴史、石井通予、山崎真裕、福井道明、中村直登  
「炭酸リチウムによる腎性尿崩症と副甲状腺機能亢進症の合併が考えられた 1 例」  
第 85 回日本内分泌学会学術総会  
平成 24 年 4 月 19 日 於:名古屋
4. Michiyo Ishii, Mai Asano, Yoshitaka Hashimoto, Motohide Isono, Michiaki Fukui, Goji Hasegawa, Naoto Nakamura  
「ACTH stimulation improves the sensitivity of aldosterone to rennin ratio (ARR) for detecting inappropriate aldosterone secretion.」  
International Congress of Endocrinology 2012.5.5~9 Florence Italy
5. 新美美貴子、橋本善隆、石井通予、神内謙至、磯野元秀、中村直登  
「外来 2 型糖尿病患者におけるシタグリプチンからビルダグリプチンへの切り替え効果の検討」  
第 55 回日本糖尿病学会年次学術集会  
平成 24 年 5 月 17 日 於:横浜
6. 橋本善隆、新美美貴子、石井通予、神内謙至、磯野元秀、中村直登  
「持続型インスリンの注射時間の変更により血糖コントロールが改善した 4 例」  
第 55 回日本糖尿病学会年次学術集会  
平成 24 年 5 月 17 日 於:横浜

7. 中澤純、板垣典子、菅原翔、桑形尚吾、高谷季穂、磯野元秀  
「エポエチンベータ、ダルボポエチンからエポエチンベータペゴルへの切り替えの検討」  
第 57 回日本透析医学会総会  
平成 24 年 6 月 22 日 於:札幌
  
8. 一色啓二、八田告、磯野元秀、牧石徹也、永作大輔、山田衆、新宮良介、鹿野勉、  
富田耕彬、西尾利二、宇津貴  
「維持血液透析患者の Hb 変動と予後の関係 ～びわこ臨床透析カンファレンスにおける検討～」  
第 57 回日本透析医学会総会  
平成 24 年 6 月 22 日 於:札幌
  
9. 桑形尚吾、中澤純、磯野元秀  
「シャント感染から化膿性脊椎炎、腸腰筋膿瘍、心膜下膿瘍を併発し再燃を繰り返した維持透析患者の 1 例」  
第 57 回日本透析医学会総会  
平成 24 年 6 月 22 日 於:札幌
  
10. 江口豊、中永士師明、古屋智規、磯野元秀、吉村規子、来住優輝、吉岡豊一  
「激症肝不全に対する Plasma Filtration with Dialysis」  
第 57 回日本透析医学会総会  
平成 24 年 6 月 22 日 於:札幌
  
11. 樋上健介、中尾光成、橋本善隆、新美美貴子、中澤純、石井通予、神内謙至、高谷季穂、  
辻村吉紀、磯野元秀  
「鑑別診断に苦慮した多中心性キャッスルマン病の 1 例」  
第 198 回日本内科学会近畿地方会  
平成 24 年 9 月 8 日 於:京都
  
12. 菅原翔、板垣典子、中澤純、高谷季穂、磯野元秀  
「尿細管間質に IgG4 陽性細胞浸潤を伴った ANCA 関連血管炎の 1 例」  
日本腎臓学会西部学術大会  
平成 24 年 10 月 27 日 於:宜野湾
  
13. 新美美貴子、橋本善隆、石井通予、神内謙至、磯野元秀、中村直登  
「2 型糖尿病におけるシタグリプチンからビルダグリプチンへの切り替えと尿中アルブミン変化」  
第 49 回日本糖尿病学会近畿地方会  
平成 24 年 11 月 17 日 於:京都

14. 槻本康人、田中大、川端拓朗、本白水博、並河孝、橋本善隆、新美美貴子、石井通予、  
 神内謙至、磯野元秀  
 「糖尿病足病変に影響を及ぼす足部機能についての考察」  
 第 49 回日本糖尿病学会近畿地方会  
 平成 24 年 11 月 17 日 於:京都

<原著・論文>

- Morita Y, Kuwagata S, Kato N, Tsujimura Y, Mizutani H, Suehiro M, Isono M  
 「The usefulness of 18F-FDG PET/CT for the early detection of rapidly progressive fatal interstitial lung disease in dermatomyositis.」  
 Intern Med 51:1613-1618, 2012
- 橋本善隆、桑形尚吾、加藤紀子、新美美貴子、中澤純、高谷季穂、石井通予、神内謙至、  
 磯野元秀  
 「IgG4 関連腎臓病を合併した糖尿病性腎症の 1 例」  
 糖尿病 55:710-715, 2012

消化器内科 消化器内視鏡センター

【平成 24 年度の主な診療実績】

<消化器内視鏡関連検査・治療件数>

(単位:件)

		平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
消化器内視鏡関連検査・治療		7,782	6,867	6,646
主な 内 訳	上部消化管内視鏡検査・治療	5,329	4,668	4,528
	上部消化管 E S D	29	48	39
	下部消化管内視鏡検査・治療	2,005	1,769	1,758
	大腸 E M R	293	263	247
	大腸 E S D	17	10	4
	胆・膵内視鏡検査・治療	206	165	216
	超音波内視鏡検査・治療	242	240	144

<肝臓検査・治療件数>

(単位:件)

	平成 24 年度
腹部血管造影検査・治療	49
R F A ・ P E I T	58
肝生検・肝腫瘍生検	39

## 【患者統計】

### ＜新規化学療法患者数＞

(単位:人)

	平成 24 年度
新規化学療法患者数	18

### ＜入院患者数＞

(単位:人)

平成 24 年度 入院患者数			1,321	
主な内訳	大腸ポリープ	251	胆道結石	56
	大腸癌	109	イレウス	45
	肝腫瘍	95	脾腫瘍	41
	胃腫瘍	90	肝炎	40
	上部消化管出血	72	感染性腸炎	38
	急性胆道感染症	70	大腸憩室炎	35
	虚血性大腸炎	68		

## 呼吸器内科

### 【平成 24 年度の主な診療実績】

単位:件(延べ)

気管支鏡件数	82	入院化学療法件数	247
ポリソムノグラフィー施行件数	29	外来化学療法件数	124
CPAP療法導入件数	19		

### 【平成 24 年度の業績報告】

#### ＜学会・研究会発表＞

1. 城田あゆみ、平沼修

「経過中に自然軽快したと考えられた結核性胸膜炎の 1 例」

京滋呼吸器疾患談話会

平成 24 年 10 月 12 日 於:京都

2. 平沼修

「プラチナ併用療法にベバシズマブを追加併用後、早期に治療抵抗性脳転移の消失あるいは著明な縮小を認めた肺腺癌患者の 1 例」

分子標的治療研究会

平成 24 年 11 月 16 日 於:京都

3. 竹内梨恵、平沼修

「リンパ脈管筋腫症に同時に合併した右乳び胸水・左気胸に対してタルクによる胸膜癒着術が奏効した1例」

第80回呼吸器学会近畿地方会・第110回日本結核病学会

平成24年12月15日 於:神戸

4. 滝本とも子、平沼修、磯野元秀

「肺腺癌の治療中に発症したネフローゼ症候群の1例」

Kyoto chest club

平成25年2月16日 於:京都

## 呼吸器外科

### 【平成24年度の主な診療実績】

(単位:件)

症 例	件 数
良性肺腫瘍(炎症性腫瘤、MAC含む)	11 (生検 3)
原 発 性 肺 癌	43 (生検 4)
転 移 性 肺 腫 瘍	24 (生検 2)
縦 隔 腫 瘍	3
気 胸	18 (術後肺瘻 3)
胸 膜 中 皮 腫	1 (生検 1)
胸 壁 腫 瘍	5 (生検 2)
膿 胸、下 降 性 壊 死 性 縦 隔 炎	10
血 胸	2
漏 斗 胸	1
多 汗 症	1
心 タ ン ポ ナ ー デ	2
食 道 胃 物	1
審査 VATS、リンパ節生検、胸膜生検	5
合計	127

## 【平成 24 年度の手術症例】

(単位:例)

		総数	開腹	腹腔鏡下	開腹移行
食道裂孔ヘルニア	噴門形成術	3	0	3	0
胃癌切除例 40	胃全摘	12	10	2	0
	幽門側胃切除	26	15	11	0
	噴門側胃切除	2	2	0	0
	バイパス術	1	1	0	0
	審査腹腔鏡	6	0	6	0
胃SMT	噴門側胃切除	1	1	0	0
胃潰瘍穿孔	胃部分切除	1	1	0	0
十二指腸潰瘍出血	噴門側胃切除	1	1	0	0
十二指腸潰瘍穿孔	大網充填	1	0	1	0
小腸腫瘍	小腸(回盲部)切除	2	2	0	0
小腸虚血・穿孔	小腸(回盲部)切除	5	4	1	0
大腸癌切除例 68					
結腸癌	結腸切除	46	13	32	1
直腸癌	直腸切除・切断	22	3	19	0
大腸良性疾患	大腸切除	16	13	3	0
虫垂炎	虫垂切除	67	27	39	1
痔核・肛門直腸ポリープ	結紮切除	11			
直腸脱・脱肛	PPH	4			
痔瘻・肛門周囲膿瘍	切開・lay open法	9			
直腸異物	経肛門的摘出	1			
肝細胞癌	肝切除(葉切除以上)	4	4	0	0
	区域切除	4	4	0	0
	部分切除(亜区域まで)	4	4	0	0
	RFA	1	0	1	0
転移性肝腫瘍	区域切除	2	2	0	0
	部分切除(亜区域まで)	4	3	1	0
肝内結石症	葉切除	1	1	0	0
肝嚢胞	開窓術	1	0	1	0
胆嚢癌	胆摘	3	2	1	0
乳頭部癌	臍頭十二指腸切除	3	3	0	0
良性胆のう疾患(胆石など)	胆嚢摘除	87	9	76	2
	他疾患手術に併施	7	4	3	0
胆嚢総胆管結石	胆摘総胆管切石Ctube	1	1	0	0
膵癌	臍頭十二指腸切除	5	5	0	0
	膵尾側切除術	2	2	0	0
乳癌 30(両側1)	乳房温存	17			
	乳房切除	13			
乳腺良性		4			
I TP	脾臓摘除	1	0	1	0
腹腔内腫瘍	腫瘍摘出術	1	1	0	0
鼠径部ヘルニア(成人)		38(両側4)	-	-	-
鼠径ヘルニア(小児)		3	-	-	-
閉鎖孔ヘルニア		2	-	-	-
臍ヘルニア		2	-	-	-
腹壁癒痕ヘルニア		5	3	2	0
傍スタマヘルニア		1	-	-	-
中心静脈ポート造設		29			
デンプーシャント		1			
腸閉塞(癒着性・絞扼性)	癒着剥離術	28	22	6	0
	小腸切除	8	7	0	1
大腸癌イレウス	大腸切除	6	2	4	0
ヘルニア嵌頓	大腿ヘルニア	2	0	0	0
癌性腹膜炎によるイレウス	バイパス術・人工肛門	19	18	1	0
穿孔性腹膜炎	胃潰瘍穿孔	胃部分切除	1	1	0
	十二指腸潰瘍穿孔	大網充填	1	0	1
	小腸穿孔	小腸切除	3	3	0
	大腸癌穿孔	大腸切除	2	2	0
	大腸穿孔(良性)		5	5	0
	虫垂炎穿孔	虫垂切除	10	6	3
緊急手術(総数)		183	114	65	4

(単孔式 10)

(単孔式 51)

(センチネルLN生検 13)  
(センチネルLN生検 3) (腋窩LN廓清 3)

外来(日帰り)手術 37例	鼠径ヘルニア	3
	乳腺	4
	リンパ節生検	5
	表在腫瘍摘出	11
	中心静脈ポート造設・除去	14

通院手術部利用入院 174例	鼠径ヘルニア	66
	臍ヘルニア	1
	腹壁癒痕ヘルニア	1
	腹腔鏡下胆摘	48
	乳腺	27
	痔核肛門ポリープ	11
	痔瘻	7
	待機的虫垂切除	1
	尿管管遺残	3
	中心静脈ポート造設	6
	表在腫瘍摘出・生検	3

手術総数 621例	全身麻酔	458
	硬膜外麻酔	21
	脊椎麻酔	60
	局所麻酔	82

## 脳神経外科

### 【主な症例(手術)および実績】

(単位:件)

症 例(手術)	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
脳 腫 瘍	11	11	13	14
脳 動 脈 瘤	10	8	9	6
外傷性頭蓋内血腫除去術	19	28	28	2
顔 面 瘻 瘻	4	1	1	2
頸椎症・頸椎椎間板ヘルニア	534	492	506	296
頸部脊柱管狭窄症				147
腰椎症・腰椎椎間板ヘルニア	22	53	54	117
腰部脊椎管狭窄症	151	172	180	104
後縦靱帯骨化症	22	39	43	39
経皮的椎体形成術	92	92	87	24
経皮的髄核摘出術	147	147	36	9
脊 髄 腫 瘍	27	33	16	13
脳動脈瘤などに対する血管内手術	21	22	4	7
合 計	1,115	1,126	1,021	863

## 【主な症例数】

## ＜分娩数＞

(単位:例)

		平成 23 年度	平成 24 年度
総 分 娩 数		362	359
主 な 内 訳	院 内 助 産	18	34
	帝 王 切 開 分 娩 (帝王切開率)	90 (24.9%)	79 (22.0%)
	母 体 搬 送	15	14

## ＜悪性腫瘍症例＞

(単位:例)

	平成 23 年度	平成 24 年度
子 宮 頸 癌 (CIN3、上皮内癌を含む)	26	23
子 宮 体 癌	15	16 (内膜癌 16 例、平滑筋肉腫 0 例)
卵 巢 癌 (腹膜癌、境界悪性卵巣腫瘍を含む)	13	11 (腹膜癌 1 例、境界悪性卵巣腫瘍 2 例)

## ＜主な手術実績＞

(単位:例)

		平成 23 年度	平成 24 年度
子 宮 悪 性 腫 瘍 手 術		16	15
子 宮 附 属 器 悪 性 腫 瘍 手 術		12	7
腹 式 子 宮 全 摘 出 術		26	31
子 宮 脱 ( 腔 式 ) 手 術		10	13
腹 式 子 宮 筋 腫 核 出 術		21	11
腹 腔 鏡 下 手 術		108	83
内 訳	腹 腔 鏡 下 腔 式 子 宮 全 摘 出 術	41	38
	附 属 器 腫 瘍 ・ 内 膜 症 手 術	59	45
	異 所 性 ( 子 宮 外 ) 妊 娠 手 術	7	0
	多 囊 胞 卵 巢 焼 灼 術	1	0
子 宮 頸 部 ( 腔 部 ) 切 除 術		19	11
子 宮 鏡 下 子 宮 筋 腫 ・ 内 膜 ポ リ ー プ 摘 出 術		7	15

## 【平成 24 年(1~12 月)の業績報告】

### 〈学会発表〉

1. 岡田由貴子、寺井万里紗、久保卓郎、山ノ井康二、高橋良樹、濱田新七\*  
大津市民病院 産婦人科 病理診断科\*  
「子宮峡部より発生した子宮内膜癌の 2 例」  
第 12 回 産婦人科手術・化学療法研究会  
平成 24 年 2 月 4 日 於:京都市
2. 岡田由貴子、鈴木彩子、林香里、久保卓郎、高橋良樹、中尾光成\*、濱田新七\*\*  
大津市民病院 産婦人科 内科\* 病理診断科\*\*  
「妊娠中に発症したベーチェット病の 1 例」  
平成 24 年度 第 1 回滋賀県産科婦人科医会 学術研修会  
平成 24 年 6 月 10 日 於:大津市
3. 林香里、鈴木彩子、久保卓郎、岡田由貴子、高橋良樹、柳橋健\*、七里泰正\*\*、濱田新七\*\*\*  
大津市民病院 産婦人科 外科\* 泌尿器科\*\* 病理診断科\*\*\*  
「術後 13 年目に再発・転移した卵巣癌の 1 例」  
平成 24 年度 第 1 回滋賀県産科婦人科医会 学術研修会  
平成 24 年 6 月 10 日 於:大津市
4. 滝本とも子、岡田由貴子、鈴木彩子、林香里、久保卓郎、高橋良樹、中尾光成\*、濱田新七\*\*  
大津市民病院 産婦人科 内科\* 病理診断科\*\*  
「妊娠中に発症したベーチェット病の 1 例」  
研修医・修練医のための産婦人科サマーセミナー2012  
平成 24 年 7 月 7 日 於:大阪市
5. 山ノ井康二\*、高橋良樹、岡田由貴子、最上晴太\*、鈴木彩子、林香里、小西郁生\*  
大津市民病院 産婦人科 京都大学大学院医学研究科婦人科学産科学\*  
「新生児予後における臍帯血中 CK 分画とガス分析値に関する後方視的検討 —824 例の成熟新生児での検討—」  
日本周産期・新生児医学会 第 48 回学術集会  
平成 24 年 7 月 9 日 於:大宮市
6. 大津市民病院 産婦人科 鈴木彩子  
「もっと知りたい見たい女性のからだ 婦人科の病気 — 産婦人科の立場から」  
第 40 回日本磁気共鳴医学会大会 市民公開講座  
平成 24 年 9 月 8 日 於:京都市

7. 大津市民病院 産婦人科 鈴木彩子  
「ワークショップ II:画像診断失敗学 知っておいて欲しい:産婦人科医から画像診断医へ」  
第 13 回 JSAWI シンポジウム  
平成 24 年 9 月 21 日 於:淡路市
  
8. 大津市民病院 産婦人科 岡田由貴子、鈴木彩子、林香里、久保卓郎、高橋良樹  
「当科で施行している異所性妊娠に対する手術についての検討」  
第 35 回日本産婦人科手術学会  
平成 24 年 9 月 29 日 於:京都市
  
9. 林香里、鈴木彩子、久保卓郎、岡田由貴子、高橋良樹、柳橋健\*、七里泰正\*\*、濱田新七\*\*\*  
大津市民病院 産婦人科 外科\* 泌尿器科\*\* 病理診断科\*\*\*  
「晚期再発をきたした上皮性卵巣癌の 2 例」  
第 127 回近畿産科婦人科学会学術集会 第 98 回腫瘍研究部会  
平成 24 年 10 月 7 日 於:大阪市
  
10. 大津市民病院 産婦人科 鈴木彩子  
「開業医ができる子宮筋腫の管理 — 子宮筋腫の診断・画像診断、おもに子宮肉腫との鑑別を中心に」  
日本産婦人科医会委員会ワークショップ  
平成 24 年 10 月 7 日 於:大阪市
  
11. 久保卓郎、林香里、岡田由貴子、鈴木彩子、高橋良樹、田口一也\*、岡本恵子\*、濱田新七\*\*  
大津市民病院 産婦人科 臨床検査部\* 病理診断科\*\*  
「再発をくり返す子宮内膜の乳頭状 villoglandular low grade intraepithelial neoplasia の 1 例」  
第 4 回関西婦人科腫瘍・病理懇話会  
平成 24 年 11 月 17 日 於:大阪市
  
12. 大津市民病院 産婦人科 林香里、鈴木彩子、岡田由貴子、久保卓郎、高橋良樹  
「当院における過去 5 年間の TOLAC 症例の検討」  
平成 24 年度 第 3 回滋賀県産科婦人科医会学術研修会  
平成 24 年 12 月 2 日 於:大津市

## <学術論文>

1. 久保卓郎、岡田由貴子、寺井万里紗、高橋顕雅\*、山ノ井康二\*\*、最上晴太\*\*、鈴木彩子、濱田新七\*\*\*、高橋良樹  
大津市民病院産婦人科 滋賀医科大学産婦人科\* 京都大学大学院医学研究科婦人科学産科学\*\*  
大津市民病院病理診断科\*\*\*  
「子宮内膜癌のリンパ節転移についての臨床病理学的検討 —当院における 92 例の検討」  
産婦の進歩 64:367-70,2012

【平成 24 年(1～12 月)の主な手術実績】

(単位:件)

水 晶 体 再 建 術	509	眼 瞼 内 反 症 手 術	4
網 膜 光 凝 固 術	51	虹 彩 光 凝 固 術	4
後 発 白 内 障 手 術	39	霰 粒 腫 摘 出 術	2
結 膜 結 石 除 去 術	17	結 膜 下 異 物 除 去 術	2
角 膜・強 膜 異 物 除 去 術	14	結 膜 囊 形 成 手 術 ( 部 分 形 成 )	2
眼 瞼 下 垂 症 手 術	12	眼 瞼 内 反 症 手 術 ( 皮 膚 切 開 法 )	2
麦 粒 腫 切 開 術	6	虹 彩 整 復・瞳 孔 形 成 術	1
翼 状 片 手 術	6	眼 瞼 結 膜 腫 瘍 手 術	1
マイボーム腺梗塞摘出術	4		

【平成 24 年度の業績報告】

＜学会発表＞

1. 大津市民病院 眼科 野口敦司、澤村操、尾藤洋子、神経内科 園部正信

「治療が奏効した抗アクアポリン 4 抗体陽性視神経炎の 1 例」

滋賀県眼科医会学術講演会

平成 24 年 7 月 8 日 於:滋賀

2. 尾藤洋子\*1、稗田牧\*2,3、加藤浩晃\*2,3、脇舛耕一\*2,3、山村陽\*2,3、山崎俊秀\*2,3、木下茂\*2,3

\*1 大津市民病院眼科 \*2 京都府立医科大学大学院医学研究科視覚機能再生外科学 \*3 パプテスト眼科クリニック

「屈折矯正術後の眼内レンズ度数決定」

第 66 回日本臨床眼科学会

平成 24 年 10 月 26 日 於:京都

＜学術論文＞

1. 大津市民病院 眼科 野口敦司、尾藤洋子、神経内科 園部正信

「血漿交換療法が奏効した抗アクアポリン 4 抗体陽性視神経脊髄炎の 1 例」

大津市民病院雑誌 14:17-22, 2013

## 耳鼻咽喉科

### 【平成 24 年度の手術実績】

(単位:例)

鼓膜チューブ留置術	2	耳下腺良性腫瘍手術	5
内視鏡下副鼻腔手術	20	顎下腺良性腫瘍手術	1
鼻中隔矯正術	11	顎下腺内唾石摘出術	1
鼻出血止血術	1	咽頭良性疾患手術・生検	10
口蓋扁桃摘出術	19	喉頭微細手術	2
顔面骨折整復術 (含小児鼻骨骨折)	7	甲状腺悪性腫瘍手術	7
頸部良性疾患手術・頸部生検	26	甲状腺良性腫瘍手術	1
気管切開術 (含 ICU 施行例)	7	誤嚥防止手術	1
頸部・縦隔膿瘍手術	7	合 計	128

## 泌尿器科

### 【平成 24 年度の主な手術件数】

(単位:件)

手術名	件数	手術名	件数
経尿道的前立腺切除術	29	精巣腫瘍摘除術	2
腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術	24	体外衝撃波結石破碎術	168
恥骨後式根治的前立腺全摘除術	2	経尿道的尿路結石破碎術	29
経尿道的膀胱腫瘍切除術	60	経皮的腎結石破碎術	6
膀胱全摘除術	7	人口尿道括約筋埋め込み術	2
腹腔鏡下腎摘除術	13	包茎根治術	4
開放腎摘除術	1	ヘルニア根治術	9
腹腔鏡下腎尿管摘除術	2	膀胱瘤根治術	3
開放腎尿管摘除術	2	(腔断端仙骨岬角固定術)	
腹腔鏡下腎盂形成術	2	そ の 他	152
腹腔鏡下副腎摘除術	6	合 計	523

## 【平成 24 年度の業績報告】

### ＜学会発表＞

1. 佐野剛視、灰谷崇夫、瀧本啓太、梶田洋一郎、七里泰正  
「前立腺側方筋膜温存腹腔鏡下前立腺全摘除術の病理学的整合性の検討」  
第 100 回日本泌尿器科学会総会  
平成 24 年 4 月 22 日 於:横浜
2. 灰谷崇夫、佐野剛視、瀧本啓太、梶田洋一郎、七里泰正  
「単孔式腹腔鏡下副腎摘除術 (LESS-Ad) 導入初期 17 例の臨床的検討」  
第 100 回日本泌尿器科学会総会  
平成 24 年 4 月 23 日 於:横浜
3. 瀧本啓太、灰谷崇夫、佐野剛視、七里泰正、井伊庸弘\*、戸田省吾\*  
大津市民病院 泌尿器科 呼吸器外科\*  
「自然気胸により診断された尿管癌肺転移の 1 例」  
第 219 回日本泌尿器科学会関西地方会  
平成 24 年 5 月 26 日 於:京都
4. 灰谷崇夫、佐野剛視、瀧本啓太、七里泰正  
「単純性腎嚢胞との鑑別が困難であった乳頭状腎細胞癌の 1 例」  
第 220 回日本泌尿器科学会関西地方会  
平成 24 年 9 月 8 日 於:大阪
5. 七里泰正、灰谷崇夫、佐野剛視、瀧本啓太、中嶋正和\*、梶田洋一郎\*\*、高尾典恭\*\*\*、徳地弘\*\*\*\*  
大津市民病院泌尿器科 京都大学泌尿器科\* 梶田泌尿器科クリニック\*\* 公立豊岡病院\*\*\* 高槻赤十字病院\*\*\*\*  
「The SCP classification と断端陽性率、合併症発生率で評価した 191 例の腹腔鏡下前立腺全摘除術のアウトカム」  
第 26 回日本泌尿器内視鏡学会総会  
平成 24 年 11 月 23 日 於:仙台
6. 佐野剛視、灰谷崇夫、瀧本啓太、七里泰正、梶田洋一郎\*  
大津市民病院泌尿器科 梶田泌尿器科クリニック\*  
「膀胱尿管逆流症 (VUR) に対する気膀胱腹腔鏡下逆流防止術 (Cohen 法) 2 例の経験」  
第 26 回日本泌尿器内視鏡学会総会  
平成 24 年 11 月 23 日 於:仙台
7. 瀧本啓太、灰谷崇夫、佐野剛視、七里泰正  
「単孔式デバイスを用いた reduced port laparoscopic radical prostatectomy の導入経験」  
第 26 回日本泌尿器内視鏡学会総会  
平成 24 年 11 月 24 日 於:仙台
8. 瀧本啓太、灰谷崇夫、佐野剛視、七里泰正  
「ヘルニア内容が膀胱であった腹壁瘢痕ヘルニアに対する腹腔鏡下修復術の 1 例」  
第 62 回日本泌尿器科学会中部総会  
平成 24 年 11 月 2 日 於:富山

## <学術論文>

1. 七里泰正、灰谷崇夫、佐野剛視、瀧本啓太、梶田洋一郎、中嶋正和  
「両側神経温存腹腔鏡下前立腺全摘除術 50 例のアウトカム－intrafascial もしくは inter fascial dissection 手技による術後早期尿禁制回復と制癌効果の検討を中心に－」  
Jpn J Endourol 25: 141-148, 2012
2. Takeshi Sano, Masakazu Nakashima, Takao Haitani, Yoichiro Kajita and Yasumasa Shichiri  
「Posterior musculofascial plate reconstruction promotes early restration of continence and prevents severe incontinence in patients undergoing laparoscopic radical prostatectomy」  
Int J Urol 19: 475-479, 2012

## 皮膚科

### 【新規入院患者数の推移】

(単位：名)

平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
65	85	110	123	118	113

### 【平成 24 年度の新規入院患者の内訳】

(単位：名)

細菌感染症	38	蕁麻疹(アナフィラキシーを含む)	6
ウイルス感染症	22	アトピー性皮膚炎	4
悪性腫瘍	9	中毒疹・薬疹	3
良性腫瘍	4	熱傷	2
皮膚潰瘍・壊疽	6	水疱症	2
外傷(動物咬傷など)	6	膿疱性乾癬	1
褥瘡	5	その他の (偽痛風、痛風、stasis panniculitis)	5
		合計	113

細菌感染症が 38 名(33.6%)と最も多く、それ以外はほぼ例年どおりの割合であった。

### 【病理組織提出検体数の推移】

(単位：件)

平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
128	158	182	210	218	178

### 【筆頭者としての学会発表】

平成 24 年度は 3 回(研究会などでの発表・講演は 7 回)

# 麻 醉 科

## 【平成 24 年度 麻醉科業務状況】

＜麻醉科管理件数(麻醉科依頼件数)＞

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外 科	37	44	40	45	42	38	48	33	26	35	32	39	459
眼 科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
産婦人科	30	27	24	29	33	15	23	36	33	21	19	25	315
歯科口腔外科	3	4	2	2	5	1	3	2	4	3	3	5	37
耳鼻咽喉科	3	5	3	7	12	5	6	6	7	9	9	6	78
心臓血管外科	4	7	5	5	9	10	3	11	2	2	5	5	68
呼吸器外科	12	8	11	12	10	6	9	12	11	18	11	6	126
整形外科	44	50	46	37	49	35	45	53	37	38	36	47	517
脳神経外科	84	84	80	82	92	79	89	83	58	36	32	33	832
泌尿器科	24	24	31	29	28	20	30	28	24	27	28	31	324
皮膚科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	(単位:分)1
合 計	241	253	242	249	280	209	257	264	202	189	175	197	2,758

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外 科	7,830	8,830	9,195	10,030	9,805	8,500	10,935	7,075	6,160	7,260	7,060	8,330	101,010
眼 科	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	60
産婦人科	4,755	4,440	3,460	4,630	5,265	2,315	3,670	4,875	5,285	3,360	3,105	4,085	49,245
歯科口腔外科	330	430	155	255	525	55	255	235	725	385	315	640	4,305
耳鼻咽喉科	430	915	500	865	1,575	715	795	590	885	1,145	1,335	825	10,575
心臓血管外科	1,350	2,090	1,525	1,395	1,925	2,730	935	2,735	875	675	1,420	1,375	19,030
呼吸器外科	2,625	1,715	2,535	2,740	1,880	1,100	2,165	2,965	2,545	3,565	2,645	1,145	27,625
整形外科	6,630	7,305	6,740	5,510	7,580	5,075	7,065	7,955	5,195	5,750	5,200	6,790	76,795
脳神経外科	18,275	17,765	16,720	19,100	20,665	16,880	19,415	18,665	12,325	6,800	7,410	7,770	181,790
泌尿器科	3,870	3,640	4,290	4,045	4,830	3,830	4,405	5,115	4,540	4,105	4,525	4,275	51,470
皮膚科	0	0	0	95	0	0	0	0	0	0	0	0	95
合 計	46,095	47,130	45,120	48,665	54,050	41,200	49,700	50,210	38,535	33,045	33,015	35,235	522,000

<麻 醉 法>

(単位:件)

	外科	眼科	産婦人科	歯科 口腔 外科	耳 鼻 咽喉科	心臓血管 外科	呼吸器 外科	整形外科	脳神経 外科	泌尿器科	皮膚科	合計
全身麻酔 (吸入)	297	1	62	262	61	52	61	400	811	224	1	2,232
全身麻酔 (TIVA)	135	0	153	10	17	16	65	117	21	92	0	626
全身麻酔 (吸入)+硬脊伝	19	0	6	0	0	0	0	0	0	3	0	28
全身麻酔 (TIVA)+硬脊伝	5	0	11	0	0	0	0	0	0	1	0	17
静脈麻酔	0	0	0	137	0	0	0	0	0	0	0	137
硬膜外麻酔	19	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	80
脊髄麻酔	62	0	83	0	0	0	0	0	0	4	0	149
局所浸透麻酔	83	510	0	0	38	95	1	42	37	8	96	910
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8	0	9
合 計	620	511	315	409	116	163	127	560	869	401	97	4,188

【平成 24 年度の診療状況】

＜緩和ケア病棟入院状況＞

総件数		164 件	(平均在院日数 34.4 日)
内訳	院内からの紹介	85 件	
	院外からの紹介	79 件	

(上記のうち、滋賀県・京都府の病院からの紹介) 63 件

滋賀県・京都府の病院の内訳	大津赤十字病院	40 件
	滋賀医科大学医学部附属病院	7 件
	社会保険滋賀病院	3 件
	近江八幡市立総合医療センター	1 件
	県立成人病センター	1 件
	甲賀市立信楽中央病院	1 件
	草津総合病院	1 件
	済生会滋賀県病院	1 件
	京都府立医科大学附属病院	3 件
	京都大学医学部附属病院	2 件
	京都第一赤十字病院	2 件
	京都市立病院	1 件

診療所	13 件
-----	------

診療所の内訳	大西クリニック	2 件
	膳所診療所	1 件
	坂本民主診療所	1 件
	北雄琴クリニック	1 件
	池野医院	1 件
	祐森クリニック	1 件
	水谷医院	1 件
	波田内科医院	1 件
	大高医院	1 件
	くろづ外科医院	1 件
	かわむら医院	1 件
	九条診療所(京都市)	1 件

<緩和ケア外来>

新 患 数		244 件		
内 訳	院 内	99 件	済生会滋賀県病院	2 件
	大津赤十字病院	70 件	その他の病院	33 件
	滋賀医科大学附属病院	20 件	診療所	14 件
	社会保険滋賀病院	6 件		

<緩和ケアチーム>

(緩和ケア病棟以外の病棟に入院されている患者・家族へのチームとしての関わり)

新 患 数	52 件
-------	------

<こころの相談>

(外来と入院されている患者・家族の心理的サポート相談)

合 計		41 件		
内 訳	患者のみ	23 件	家族のみ	7 件
	患者・家族	11 件		

<緩和ケア病棟研修>

- ・緩和ケア病棟の紹介と案内
- ・病棟スタッフによる講義
- ・病棟入院患者・家族との関わり

全 2 回開催

- ・ 第 1 班 : 平成 24 年 7 月 5 日と 12 日の午後
- ・ 第 2 班 : 平成 24 年 7 月 19 日と 26 日の午後

研修参加者	大津市・草津市内の訪問看護ステーション、総合病院、在宅療養支援診療所に勤務する医療従事者 20 名 (看護師 15 名、ソーシャルワーカー 5 名)
-------	--

# 手術部

## 【平成 24 年度 手術業務状況】

### <手術件数>

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	46	61	53	68	57	48	60	46	40	50	39	52	620
眼科	37	45	43	55	40	40	37	54	35	37	43	45	511
産婦人科	30	27	24	29	33	15	23	36	33	21	19	25	315
歯科・口腔外科	27	31	29	27	52	29	27	32	33	34	36	52	409
耳鼻咽喉科	10	9	5	10	15	7	8	10	8	12	13	9	116
心臓血管外科	11	12	13	12	14	16	16	22	15	8	12	12	163
呼吸器外科	12	8	11	12	10	6	9	13	11	18	11	6	127
整形外科	45	54	50	42	52	37	52	56	39	42	39	52	560
脳神経外科	86	89	82	87	96	80	92	87	60	37	38	35	869
泌尿器科	25	29	40	30	34	26	37	33	33	37	37	40	401
皮膚科	7	7	6	8	11	10	6	10	9	9	6	8	97
合計	336	372	356	380	414	314	367	399	316	305	293	336	4188

手術件数>

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	15	23	17	29	20	19	27	18	12	23	9	13	225
眼科	1	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	1	8
産婦人科	7	3	3	4	5	4	3	6	4	1	5	5	50
歯科・口腔外科	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	6
耳鼻咽喉科	2	1	0	3	2	1	3	2	1	3	2	1	21
心臓血管外科	3	0	3	3	5	7	9	7	2	0	4	1	44
呼吸器外科	2	1	1	2	2	6	3	5	3	1	5	2	33
整形外科	18	21	17	10	12	8	19	15	13	6	6	11	156
脳神経外科	11	12	14	15	12	13	18	13	14	12	10	6	150
泌尿器科	0	1	5	0	0	0	2	2	1	8	6	6	31
皮膚科	0	0	0	1	2	0	0	1	1	4	0	1	10
合計	59	64	62	67	60	60	85	70	53	59	47	48	734

(単位:分)

<手術時間>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	6,150	7,265	7,625	8,570	8,185	6,840	8,795	5,950	5,280	6,070	5,495	6,680	82,905
眼科	635	860	888	1,099	710	665	600	915	710	605	740	755	9,182
産婦人科	3,170	3,035	2,370	3,125	3,720	1,640	2,510	3,245	3,690	2,380	2,195	2,745	33,825
歯科口腔外科	885	1,190	960	925	1,775	875	740	1,325	1,320	1,105	1,385	2,015	14,500
耳鼻咽喉科	575	825	470	645	1,055	540	545	400	520	835	1,070	565	8,045
心臓血管外科	1,580	1,850	1,775	1,557	1,650	2,375	1,560	2,665	1,515	915	1,640	1,485	20,567
呼吸器外科	1,725	1,105	1,730	1,810	1,235	670	1,540	2,135	1,705	2,195	1,785	520	18,155
整形外科	3,910	4,390	3,810	3,275	4,540	2,935	4,246	4,559	3,065	3,455	3,010	3,910	45,105
脳神経外科	12,725	11,895	11,490	13,160	14,400	11,575	13,090	12,920	8,235	4,530	5,045	5,455	124,520
泌尿器科	2,510	2,590	2,960	2,705	3,425	2,825	3,040	3,610	3,480	2,830	3,175	2,835	35,985
皮膚科	225	255	190	230	335	260	135	225	305	315	155	330	2,960
合計	34,090	35,260	34,268	37,101	41,030	31,200	36,801	37,949	29,825	25,235	25,695	27,295	395,749

<年齢別手術件数>

(単位:件)

	~12ヶ月	~5歳	~18歳	~65歳	~85歳	85歳~	合計
外科	0	0	13	281	297	29	620
眼科	0	0	0	88	378	45	511
産婦人科	0	0	1	293	20	1	315
歯科口腔外科	0	1	60	302	46	0	409
耳鼻咽喉科	0	0	22	66	27	1	116
心臓血管外科	0	0	0	41	112	10	163
呼吸器外科	0	0	2	60	60	5	127
整形外科	0	7	48	252	195	58	560
脳神経外科	0	0	5	432	417	15	869
泌尿器科	0	1	3	145	237	15	401
皮膚科	0	0	0	49	40	8	97
合計	0	9	154	2,009	1,829	187	4,188

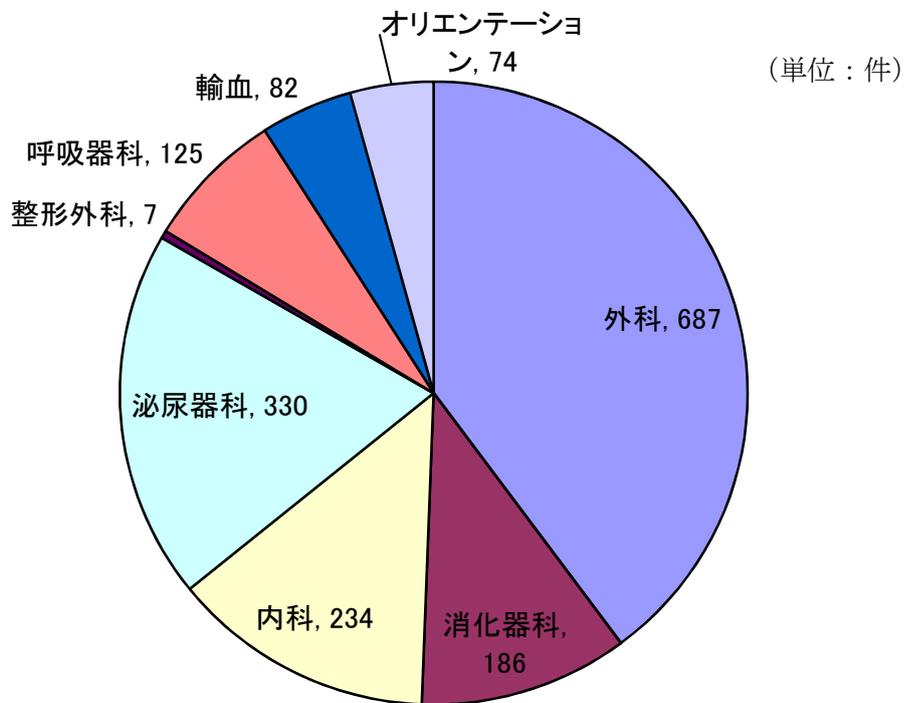
## 通院治療室

### 【平成 24 年度治療実績】

年間総数 : 1,728 件

### 【診療科別治療件数】(単位 : 件)

外科	687	大腸癌、乳癌、膵癌、胆道癌など	整形外科	7	慢性関節性リウマチなど
消化器科	186	胃癌、大腸癌、肝癌(動注 21 件)、胆道癌、炎症性腸疾患など	呼吸器科	125	肺癌など
内科	234	血液悪性疾患など	輸血	82	
泌尿器科	330	腎癌、前立腺癌など	オリエンテーション	74 件	



## 外来通院手術部

### 【平成 24 年度の実績】

(単位:件)

合 計	1,166
日 帰 り 手 術	445
短 期 滞 在 手 術	347
尿路結石の体外衝撃波破碎(ESWL)	155
術 前 の 自 己 血 貯 血	219

### 【診療科別手術件数】

(単位:件)

診 療 科	件 数	内 容
泌 尿 器 科	249	ESWL、前立腺生検、包茎手術、経尿道的手術など
外 科	204	小児・成人単径ヘルニア、腹腔鏡下胆嚢摘出術、痔疾患、 乳腺腫瘍摘出術、皮下腫瘍摘出術など
眼 科	186	白内障手術、斜視など
脳 神 経 外 科	93	圧迫骨折に対する椎体形成術、 椎間板ヘルニア経皮的髄核摘出術など
皮 膚 科	73	皮膚腫瘍摘出術など
整 形 外 科	41	抜釘術、腱鞘切開術、腫瘍摘出術など
歯科口腔外科	37	抜歯など
心臓血管外科	37	内シャント形成術、下肢静脈留など
耳 鼻 咽 喉 科	27	鼻内視鏡手術、頸部腫瘍摘出術など

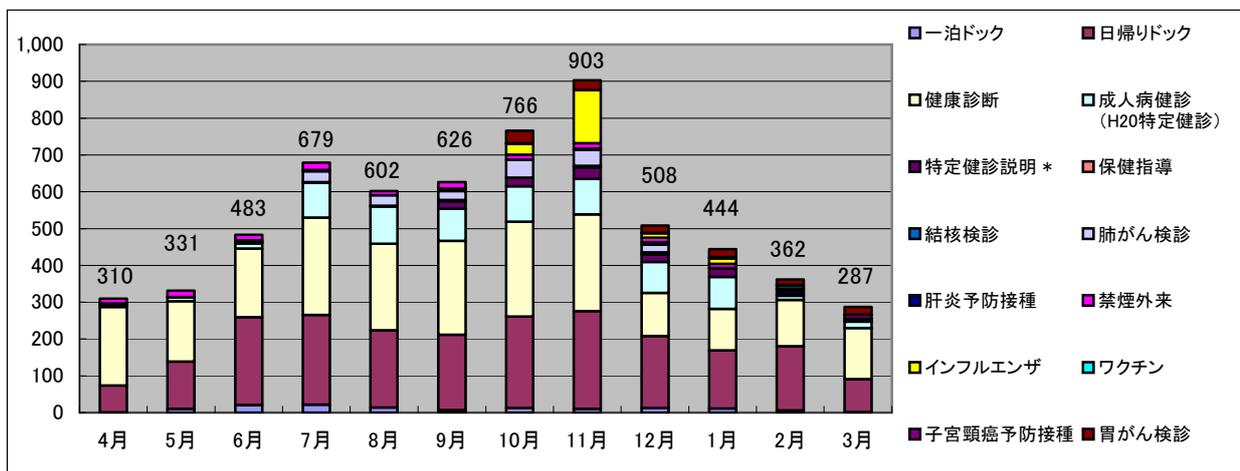
# 健診センター

## 【平成 24 年度 業務統計】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一泊ドック	1	10	21	22	14	7	13	10	13	11	6	2	130
日帰りドック	73	129	238	243	210	205	248	266	195	158	174	89	2,228
健康診断	213	164	187	265	235	255	258	263	117	113	126	139	2,335
成人病健診 (H20特定健診)	4	10	14	95	101	87	96	96	84	87	11	17	702
特定健診説明*	1	1	0	1	1	20	23	31	20	23	0	0	121
保健指導	4	0	1	0	1	2	0	2	0	1	1	2	14
結核検診	0	0	0	0	0	2	0	2	6	0	0	0	10
肺がん検診	1	0	3	30	29	24	49	44	21	0	5	6	212
肝炎予防接種	0	0	4	3	0	7	0	3	7	0	8	1	33
禁煙外来	13	17	15	20	11	17	14	15	12	11	4	9	158
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	29	144	12	15	2	0	202
ワクチン	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	8	1	11
子宮頸癌予防接種	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	0	6
胃がん検診	0	0	0	0	0	0	34	27	20	22	15	21	139
合計	310	331	483	679	602	626	766	903	508	444	362	287	6,301

\* H24 年度特定健診(大津市は平成 24 年 9 月～平成 25 年 1 月まで、当日結果説明)



## 【平成 24 年度 ドックおよび脳検査統計】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一泊ドック	1	10	21	22	14	7	13	10	13	11	6	2	130
日帰りドック	73	129	238	243	210	205	248	266	195	158	174	89	2,228
脳ドック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	12
脳検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	4	13
総受診者数※	74	139	259	265	224	212	261	276	208	169	180	91	2,358

※総受診者数＝日帰りドック(脳検査受診も含む)＋一泊ドック(脳検査受診も含む)

脳関係の人数は来年度より加算する。

【平成 24 年度 業務実績】

名称		4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院	処方箋枚数(総数)	4,928	5,052	4,997	5,116	5,532	5,366
	注射箋枚数(総数)	8,208	8,458	8,627	9,262	9,875	7,266
	TPN無菌調製加算	220	190	197	176	230	192
	抗悪性腫瘍剤処理加算	300	387	266	334	398	344
	薬剤管理指導業務	326	414	434	512	565	425
外来	院内処方箋枚数	986	1,027	819	916	844	901
	注射箋枚数(総数)	1,526	1,621	1,431	1,724	1,889	1,434
	院外処方箋枚数	10,965	11,360	10,820	11,227	11,540	10,178

名称		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入院	処方箋枚数(総数)	5,377	5,283	5,338	4,727	4,795	6,028	62,539	5,212
	注射箋枚数(総数)	7,196	9,077	9,868	7,094	7,148	8,146	100,225	8,352
	TPN無菌調製加算	273	198	179	153	135	124	2,267	189
	抗悪性腫瘍剤処理加算	499	470	454	445	411	444	4,752	396
	薬剤管理指導業務	511	594	508	494	504	567	5,854	488
外来	院内処方箋枚数	908	954	1,193	1,446	1,171	1,116	12,281	1,023
	注射箋枚数(総数)	1,494	1,763	1,672	1,704	1,439	1,601	19,298	1,608
	院外処方箋枚数	11,595	11,443	10,806	10,919	10,090	11,309	132,252	11,021

【業務実績の推移(前年同期比較)】

名称		4月	5月	6月	7月	8月	9月
TPN無菌調製加算	平成23年度	224	193	194	262	372	290
	平成24年度	220	190	197	176	230	192
抗悪性腫瘍剤処理加算	平成23年度	357	334	388	328	341	399
	平成24年度	300	387	266	334	398	344
薬剤管理指導業務	平成23年度	390	434	477	361	380	373
	平成24年度	326	414	434	512	565	425

名称		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
TPN無菌調製加算	平成23年度	187	172	256	230	200	213	2,793	233
	平成24年度	273	198	179	153	135	124	2,267	189
抗悪性腫瘍剤処理加算	平成23年度	376	404	305	377	370	365	4,344	362
	平成24年度	499	470	454	445	411	444	4,752	396
薬剤管理指導業務	平成23年度	361	325	387	350	377	425	4,640	387
	平成24年度	511	594	508	494	504	567	5,854	488

臨床検査部

【平成24年度 月別検査件数】

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
総件数	20年度	167,904	167,639	170,338	181,923	170,533	165,892
	21年度	173,598	162,309	184,160	188,864	172,736	172,068
	22年度	186,506	170,900	187,277	183,959	184,670	184,273
	23年度	170,183	177,393	192,996	183,590	201,054	183,849
	24年度	181,737	196,343	178,193	185,348	186,676	162,006

免疫化学	23年度	138,575	144,680	156,741	149,787	164,198	149,982
	24年度	150,597	163,200	144,370	150,346	151,547	131,676
生理	23年度	2,381	2,359	2,773	2,406	2,803	2,170
	24年度	2,362	2,521	2,584	2,633	2,576	2,022
微生物	23年度	2,449	2,730	2,808	2,573	2,483	2,300
	24年度	2,513	2,504	2,435	2,603	2,459	2,295
血液	23年度	14,592	15,056	16,120	15,892	17,336	16,140
	24年度	13,966	14,940	14,961	15,474	15,891	13,756
輸血	23年度	980	941	1,004	929	988	900
	24年度	945	1,064	1,011	967	942	825
一般	23年度	6,024	6,432	7,291	6,774	7,568	7,130
	24年度	6,354	7,052	7,463	7,751	7,951	6,845
病理	23年度	842	983	1,168	916	1,062	1,016
	24年度	834	934	1,005	1,052	1,043	911
外注	23年度	4,340	4,212	5,091	4,313	4,616	4,211
	24年度	4,166	4,128	4,364	4,522	4,267	3,676

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
総件数	20年度	182,337	159,700	173,621	179,173	163,480	177,574	2,060,114
	21年度	184,873	175,270	177,016	177,437	170,608	192,106	2,131,045
	22年度	177,201	179,023	159,736	183,491	148,382	170,448	2,115,866
	23年度	179,600	185,500	188,048	189,638	184,416	190,741	2,227,008
	24年度	181,750	182,745	169,802	173,586	159,082	170,105	2,127,373

免疫化学	23年度	146,857	151,513	153,916	155,291	150,888	155,605	1,818,033
	24年度	147,555	148,693	138,365	141,413	129,229	137,895	1,734,886
生理	23年度	2,381	2,332	2,154	2,167	2,319	2,595	28,840
	24年度	2,318	2,289	1,989	2,085	2,100	2,269	27,748
微生物	23年度	2,140	2,407	2,663	3,091	2,943	2,772	31,359
	24年度	2,485	2,687	2,695	3,150	2,974	2,998	31,798
血液	23年度	15,768	15,860	16,086	16,265	15,821	16,761	191,697
	24年度	15,498	15,333	14,379	14,542	13,476	14,420	176,636
輸血	23年度	858	1,029	1,041	1,037	842	1,006	11,555
	24年度	958	987	885	834	767	783	10,968
一般	23年度	6,821	7,157	7,350	7,148	6,588	6,715	82,998
	24年度	7,618	7,721	6,581	6,478	5,987	6,481	84,282
病理	23年度	1,049	1,065	996	864	934	935	11,830
	24年度	1,004	955	945	968	918	898	11,467
外注	23年度	3,726	4,137	3,842	3,775	4,081	4,352	50,696
	24年度	4,314	4,080	3,963	4,116	3,631	4,361	49,588

## 【<入院・外来別> 平成 24 年度 検査件数】

(単位:件)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	入院	外来										
免疫化学	45,866	104,731	49,783	113,417	45,138	99,232	45,047	105,299	45,925	105,622	38,260	93,416
血液	4,855	9,111	5,276	9,664	5,361	9,600	5,374	10,100	5,679	10,212	4,752	9,004
一般	1,130	5,224	1,242	5,810	1,218	6,245	1,127	6,624	1,211	6,740	960	5,884
微生物	1,030	1,483	1,084	1,420	1,137	1,298	1,275	1,328	1,084	1,375	1,099	1,196
輸血	345	600	381	683	303	708	241	726	309	633	259	566
病理	254	580	291	643	287	718	292	760	314	729	236	675
生理	475	1,887	485	2,036	453	2,131	468	2,165	456	2,120	368	1,654
外注	962	3,204	981	3,147	1,042	3,322	1,019	3,503	944	3,323	830	2,846
総件数	54,917	126,820	59,523	136,820	54,939	123,254	54,843	130,505	55,922	130,754	46,764	115,241

	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間	
	入院	外来	入院	外来										
免疫化学	44,970	102,585	46,140	102,553	45,066	93,299	42,000	99,413	39,275	89,954	40,240	97,655	527,710	1,207,176
血液	5,586	9,912	5,534	9,799	5,430	8,949	4,866	9,676	4,688	8,788	4,739	9,681	62,140	114,496
一般	1,032	6,586	1,143	6,578	1,155	5,426	1,161	5,317	1,103	4,884	1,138	5,343	13,620	70,661
微生物	1,161	1,324	1,253	1,434	1,129	1,566	1,103	2,047	1,172	1,802	1,127	1,871	13,654	18,144
輸血	331	627	376	611	354	531	248	586	239	528	267	516	3,653	7,315
病理	240	764	272	683	282	663	289	679	269	649	266	632	3,292	8,175
生理	430	1,888	452	1,837	405	1,584	404	1,681	461	1,639	443	1,826	5,300	22,448
外注	1,033	3,281	865	3,215	926	3,037	957	3,159	816	2,815	884	3,487	11,259	38,339
総件数	54,783	126,967	56,035	126,710	54,747	115,055	51,028	122,558	48,023	111,059	49,104	121,011	640,628	1,486,754

## 【平成 24 年度の業績報告】

### <学会・研究会発表>

#### 1. 田口一也

「子宮内膜搔爬によって絨毛腺管状発育を示す粘液性腺癌を疑った1例」

第 51 回日本臨床細胞学会秋季大会

平成 24 年 11 月 9 日 於:新潟

#### 2. 田口一也、滋賀県臨床検査技師会部門長他

「平成 24 年度滋賀県精度管理細胞部門のまとめ」

平成 24 年度滋賀県臨床検査精度管理報告会

平成 25 年 3 月 16 日 於:大津

3. 瀧井さち子、滋賀県臨床検査技師会部門長他  
「平成24年度滋賀県精度管理血清部門のまとめ」  
平成24年度滋賀県臨床検査精度管理報告会  
平成25年3月16日 於:大津
4. 金子裕、滋賀県臨床検査技師会部門長他  
「平成24年度滋賀県精度管理生理部門のまとめ」  
平成24年度滋賀県臨床検査精度管理報告会  
平成25年3月16日 於:大津
5. 三島賀美、中野博之、森恵美子、中尾光成、早野尚志、横谷恵、松下弘美  
「当院における血液培養について」  
第35回滋賀県医学検査学会  
平成25年3月3日 於:長浜

<講師>

1. 松井まり子  
第2回輸血・移植検査部門研修会(実技講習会)  
主催:滋賀県臨床検査技師会  
平成24年7月21日~22日 於:長浜

放射線科・放射線部

【平成24年度 検査人数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
入院(延人数)	12,550	12,597	12,957	13,303	13,604	12,784	13,376	13,062	13,144	12,034	11,627	12,646	153,684
診療日数	20	21	21	21	23	19	22	21	19	19	19	20	245
外来(延人数)	19,330	20,516	20,260	20,831	21,278	18,818	21,231	20,710	19,721	20,178	19,008	20,805	242,686
一般最景部門	4,370	4,593	4,783	4,834	4,677	4,121	5,017	4,757	4,443	4,195	3,944	4,141	53,875
骨塩定量測定部門	34	34	46	58	53	43	50	42	35	35	28	48	506
血管造影部門(1)	35	28	19	26	36	31	34	21	22	19	23	19	313
血管造影部門(2)	40	42	58	49	60	36	42	42	40	39	42	43	533
CT部門	1,804	1,933	2,035	1,965	2,005	1,793	1,986	1,980	1,827	1,869	1,738	1,743	22,678
MR部門	528	564	743	713	752	658	768	757	664	568	613	592	7,920
Fluor部門	38	54	53	44	58	36	48	46	22	35	34	31	499
ESWL部門	13	15	16	25	19	16	26	13	15	13	14	18	203
合計(人)	6,862	7,263	7,753	7,714	7,660	6,734	7,971	7,658	7,068	6,773	6,436	6,635	86,527
ESWL新患	2	8	4	12	3	5	9	6	4	6	4	5	68

## 【平成 24 年度 検査件数】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影部門	5,311	5,447	5,631	5,613	5,483	4,815	5,910	5,556	5,267	4,915	4,591	4,912	63,451
単純撮影	4,350	4,418	4,532	4,520	4,416	3,918	4,711	4,431	4,242	3,862	3,671	3,962	51,033
ホータル 病棟	484	487	509	459	455	391	528	500	511	499	386	421	5,630
ホータル OP室	160	174	159	152	183	139	173	184	139	140	130	145	1,878
X線テレビ	54	111	124	118	123	103	151	125	101	115	102	79	1,306
パノラマ撮影	119	124	130	146	106	110	120	112	95	116	110	137	1,425
泌・婦造影	23	17	15	26	23	9	24	11	16	17	20	22	223
乳房撮影	121	116	162	192	177	145	203	193	163	166	172	146	1,956
骨塩定量測定部門	34	34	46	58	53	43	50	42	35	35	28	48	506
血管造影部門	75	70	77	75	96	67	76	63	62	58	65	62	846
CT部門	1,804	1,933	2,035	1,965	2,005	1,793	1,986	1,980	1,827	1,869	1,738	1,743	22,678
MR部門 1.5T	528	414	439	401	425	382	431	436	373	274	311	294	4,708
MR部門 3.0T		150	304	312	327	276	337	321	291	294	302	298	3,212
RI部門	38	54	53	44	58	36	48	46	22	35	34	31	499
ESWL部門	13	15	16	25	19	16	26	13	15	13	14	18	203
合計(件)	7,803	8,117	8,601	8,493	8,466	7,428	8,864	8,457	7,892	7,493	7,083	7,406	96,103

【<入院・外来別> 平成 23 年度 検査件数】

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
単純撮影	入院	789	785	842	781	830	730	871	846	763	746	666	702	9,351
	外来	3,561	3,633	3,690	3,739	3,586	3,188	3,840	3,585	3,479	3,116	3,005	3,260	41,682
ポータル病棟	入院	484	485	504	454	455	390	525	494	508	496	384	418	5,597
	外来	0	2	5	5	0	1	3	6	3	3	2	3	33
ポータルOP室	入院	158	170	159	144	181	138	171	184	139	140	130	143	1,857
	外来	2	4	0	8	2	1	2	0	0	0	0	2	21
X線レビ	入院	27	46	37	33	36	26	57	36	28	40	42	30	438
	外来	27	65	87	85	87	77	94	89	73	75	60	49	868
パラマ撮影	入院	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
	外来	119	124	130	146	106	110	119	112	94	115	110	137	1,422
泌婦撮影	入院	9	8	5	7	10	5	9	6	5	7	6	15	92
	外来	14	9	10	19	13	4	15	5	11	10	14	7	131
乳房撮影	入院	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
	外来	121	115	162	192	177	145	203	193	162	166	171	146	1,953
骨塩定量測定	入院	4	1	6	7	9	3	5	3	1	3	1	3	46
	外来	30	33	40	51	44	40	45	39	34	32	27	45	460
血管撮影	入院	60	51	65	68	79	56	62	48	52	53	56	57	707
	外来	15	19	12	7	17	11	14	15	10	5	9	3	137
CT検査	入院	383	411	404	370	388	365	390	389	344	306	276	304	4,330
	外来	1,421	1,522	1,631	1,595	1,617	1,428	1,596	1,591	1,483	1,563	1,462	1,439	18,348
(CT単純)	入院	300	338	335	297	307	303	299	306	280	232	217	218	3,432
	外来	1,143	1,214	1,279	1,284	1,275	1,134	1,246	1,285	1,199	1,234	1,168	1,137	14,598
(CT造影)	入院	83	73	69	73	81	62	91	83	64	74	59	86	898
	外来	278	308	352	311	342	294	350	306	284	329	294	302	3,750
MR検査	入院	49	61	51	65	53	63	56	67	51	71	67	77	731
	外来	479	503	692	648	699	595	712	690	613	497	546	515	7,189
(MR単純)	入院	37	38	38	49	38	48	45	51	43	48	51	59	545
	外来	420	444	602	562	602	505	619	590	528	400	464	430	6,166
(MR造影)	入院	12	23	13	16	15	15	11	16	8	23	16	18	186
	外来	59	59	90	86	97	90	93	100	85	97	82	85	1,023
R検査	入院	6	7	8	4	10	7	13	6	2	1	0	1	65
	外来	32	47	45	40	48	29	35	40	20	34	34	30	434
ESWL	入院	5	5	2	10	5	8	3	5	1	5	2	1	52
	外来	8	10	14	15	14	8	23	8	14	8	12	17	151
合計(件)	入院	1,974	2,031	2,083	1,943	2,056	1,791	2,163	2,084	1,896	1,869	1,631	1,751	23,272
	外来	5,829	6,086	6,518	6,550	6,410	5,637	6,701	6,373	5,996	5,624	5,452	5,653	72,829

## 【月・年度別の検査件数推移】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成20年度	7,860	7,631	7,854	8,302	7,620	7,561	8,492	7,419	7,923	7,860	7,783	8,139	94,444
平成21年度	7,859	7,134	8,532	8,640	7,683	7,658	8,131	7,662	7,907	7,933	7,482	8,660	95,281
平成22年度	8,715	7,955	8,739	8,168	7,978	8,116	8,098	8,428	8,028	8,219	7,500	8,309	98,253
平成23年度	7,579	7,766	8,367	7,733	8,546	7,820	7,717	8,101	7,986	7,794	7,736	8,042	95,187
平成24年度	7,803	8,117	8,601	8,493	8,466	7,428	8,864	8,457	7,892	7,493	7,083	7,404	96,101

## 【<入院> 月・年度別の検査件数推移】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成20年度	2,174	2,120	2,125	2,174	2,092	1,981	2,323	2,219	2,389	2,225	2,138	2,294	26,254
平成21年度	1,970	1,707	2,126	2,109	2,031	2,018	2,107	2,038	2,151	2,006	1,896	2,328	24,487
平成22年度	2,291	2,119	2,248	2,052	1,946	1,875	1,986	2,288	2,121	2,102	1,978	1,939	24,945
平成23年度	1,835	1,974	1,951	1,941	2,090	1,936	1,631	1,936	1,942	1,947	2,005	2,032	23,220
平成24年度	1,974	2,031	2,083	1,943	2,056	1,791	2,163	2,084	1,896	1,869	1,631	1,751	23,272

## 【<外来> 月・年度別 検査件数推移】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成20年度	5,720	5,507	5,724	6,123	5,526	5,578	6,165	5,199	5,531	5,631	5,646	5,841	68,191
平成21年度	5,884	5,423	6,402	6,527	5,649	5,638	6,021	5,623	5,755	5,930	5,585	6,333	70,770
平成22年度	6,425	5,789	6,493	6,116	6,032	6,241	6,112	6,140	5,907	6,117	5,522	6,370	73,264
平成23年度	5,744	5,792	6,416	5,792	6,456	5,884	6,086	6,165	6,044	5,847	5,731	6,010	71,967
平成24年度	5,829	6,086	6,518	6,550	6,410	5,637	6,701	6,373	5,996	5,624	5,452	5,653	72,829

## 【読影率】

読影結果が翌診療日までに読影されている件数と読影率

	CT検査			MR検査			RI検査			合計		
	検査 件数	読影 件数	読影率 (%)									
平成20年度	19,790	19,790	100.00	6,046	6,046	100.00	802	782	97.51	26,638	26,618	99.92
平成21年度	20,480	20,479	100.00	6,767	6,767	100.00	645	588	91.16	27,892	27,834	99.79
平成22年度	21,777	21,768	99.96	6,660	6,660	100.00	623	500	80.26	29,060	28,928	99.55
平成23年度	21,852	21,852	100.00	6,625	6,625	100.00	545	408	74.86	29,022	28,885	99.53
平成24年度	22,678	22,673	99.98	7,920	7,918	99.97	499	498	99.80	31,097	31,089	99.97

## 【平成 24 年度の業績報告】

### <研究発表>

1. 青木悦雄  
「極めつきの 1 例」  
第 194 回大腸疾患研究会  
平成 24 年 9 月 14 日 於:大阪市
2. 田淵志帆  
「泌尿器検査の紹介・工夫」  
滋賀県放射線技師会第 2 回学術研修会  
平成 24 年 11 月 11 日 於:彦根市(彦根勤労福祉会館大ホール)
3. 中村昌文  
「フルデジタル 3.0T-MRI の撮像」  
石川県診療放射線技師学術大会  
平成 24 年 12 月 16 日 於:石川県(石川県立中央病院)
4. 南一男  
「滋賀県内の放射線測定器の保有実績」  
第 43 回滋賀県公衆衛生学会  
平成 25 年 2 月 14 日 於:大津市(ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター)

### <講師>

1. 山内聡、坂東大輔  
「放射線の被ばくと MRI の安全教育」  
医療安全研修会  
平成 24 年 7 月 27 日、8 月 10 日・27 日、9 月 18 日 於:大津市民病院
2. 市場文功  
「急性疾患を見逃さない CT 診断のポイント」  
第 28 回京滋救命救急セミナー  
平成 25 年 2 月 22 日 於:京都センチュリーホテル
3. 市場文功  
「急性腹症、その他」  
第 32 回画像医学会 研修医セミナー4 画像診断入門 2 / common disease を押さえよう  
平成 25 年 2 月 23 日 於:東京ステーションコンファレンス

### <座長>

1. 坂東大輔:施設発表  
第 7 回京滋 Gyro Meeting.  
平成 24 年 7 月 14 日 於:大津市民病院
2. 市場文功  
第 32 回画像医学会  
研修医セミナー3・4 画像診断入門 2 / common disease を押さえよう  
平成 25 年 2 月 23 日 於:東京ステーションコンファレンス

## 【平成 24 年度 理学療法患者数】

(単位: 単位数)

年	H24										H25			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入院	3,244	3,744	4,047	4,116	4,187	3,647	3,896	3,818	3,844	3,536	3,652	3,824	45,555	
外来	523	598	586	560	521	574	755	753	735	829	808	867	8,109	
合計	3,767	4,342	4,633	4,676	4,708	4,221	4,651	4,571	4,579	4,365	4,460	4,691	53,664	

## 【平成 24 年度 作業療法患者数】

(単位: 単位数)

年	H24										H25			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入院	1,466	1,465	1,572	1,657	1,807	1,634	1,777	1,590	1,576	1,578	1,511	1,521	19,154	
外来	112	120	114	70	61	79	77	67	68	65	83	85	1,001	
合計	1,578	1,585	1,686	1,727	1,868	1,713	1,854	1,657	1,644	1,643	1,594	1,606	20,155	

## 【平成 24 年度 言語聴覚療法患者数】

(単位: 単位数)

年	H24										H25			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入院	560	596	550	619	644	580	493	577	469	452	433	475	6,448	
外来	154	165	169	114	107	112	112	121	124	130	145	173	1,626	
合計	714	761	719	733	751	692	605	698	593	582	578	648	8,074	

## 【平成 24 年度 回復期リハビリテーション患者数】

(単位: 単位数) ※重複

年	H24										H25			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入院	1,947	2,184	2,183	2,617	2,623	2,267	2,581	2,581	2,364	2,476	2,574	2,651	29,048	
合計	1,947	2,184	2,183	2,617	2,623	2,267	2,581	2,581	2,364	2,476	2,574	2,651	29,048	

## 【平成 24 年度 心臓リハビリテーション患者数】

(単位: 単位数) ※重複

年	H24										H25			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入院	0	0	0	0	0	119	190	153	160	152	152	228	1,154	
外来	0	0	0	0	0	50	158	212	239	320	308	339	1,626	
合計	0	0	0	0	0	169	348	365	399	472	460	567	2,780	

## 【平成 24 年度の業績報告】

### ＜学会発表＞

1. 槻本康人、田中大、曾田祥正、松本恵以子、柴田奈緒美、松尾洋史、並河孝、藤原克次、岡野高久、夜久均  
「心臓弁膜症および虚血性心疾患の術前因子に関する調査」  
第 47 回日本理学療法学会  
平成 24 年 5 月 27 日 於:神戸
2. 槻本康人、田中大、曾田祥正、松本恵以子、山下綾子、川端拓朗、柴田奈緒美、本白水博、並河孝、松尾洋史、木股正樹、藤原克次、岡野高久、夜久均  
「開心術患者の周術期運動耐容能の変化についての検討」  
第 18 回日本心臓リハビリテーション学会  
平成 24 年 7 月 14 日 於:埼玉
3. 槻本康人、横谷俊彦、柴田奈緒美、本白水博、並河孝、木股正樹、藤原克次、岡野高久、夜久均  
「待期的開心術患者の運動耐容能の変化について」  
第 51 回全国自治体病院学会  
平成 24 年 11 月 9 日 於:香川
4. 田中大、横谷俊彦、柴田奈緒美、本白水博、並河孝、槻本康人  
「人口膝関節単顆置換術後にリハビリテーションを行った 1 症例の報告」  
第 51 回全国自治体病院学会  
平成 24 年 11 月 9 日 於:香川
5. 槻本康人、田中大、川端拓朗、本白水博、並河孝、橋本善隆、新美美貴子、石井通予、神内謙至、磯野元秀  
「糖尿病性足病変に影響を及ぼす足部機能についての考察」  
第 49 回糖尿病学会近畿地方会  
平成 24 年 11 月 17 日 於:京都
6. 生田悦子、戸田省吾、山本高正、本白水博、横谷俊彦、吉村規子、山田親代、中村佳央  
「高位頸髄損傷患者の腹部外科手術後に無気肺を生じた症例に対し、陽・陰圧体外式人工呼吸器の使用により呼吸状態が安定し、退院へ導くことができた 1 症例」  
第 22 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会  
平成 24 年 11 月 23 日 於:福井
7. 横谷俊彦、槻本康人、本白水博、並河孝、奥村千佳希、佐藤伸一郎、横江唯、佐藤友紀、小川文孝、武山容子、三木真紀子、森野智史、小川正孝、須佐美智子、西村由香、木股正樹、田仲信行  
「待期的 PCI 患者に対する短期心臓リハビリプログラムの取り組みについて」  
日本医療マネジメント学会第 10 回京滋支部学術大会  
平成 25 年 2 月 16 日 於:大津

### ＜原著＞

1. 槻本康人、横谷俊彦、柴田奈緒美、大原ともみ、本白水博、並河孝、奥村千佳希、佐藤伸一郎、横江唯、佐藤友紀、小川文孝、武山容子、三木真紀子、森野智史、小川正孝、須佐美智子、西村由香、木股正樹、田仲信行、岡野高久  
「大津市民病院での心臓リハビリテーション開設へ向けた取り組み」  
大津市民病院雑誌 14. 2013

## 【平成 24 年度 業務実績】

(単位:件)

業務	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
IVUS	9	7	20	18	16	17	16	12	7	12	13	10	157
PM新規植込み	1	3	2	3	2	0	2	1	1	0	0	2	17
PM交換	0	1	0	0	2	0	0	4	0	1	0	3	11
PMOPサポート	2	1	2	2	1	1	0	0	1	1	1	1	13
CRT ICD外来	1	2	1	2	1	1	1	0	0	1	2	2	14
PM外来	36	26	41	39	35	37	31	28	39	36	32	24	404
人工心肺	2	2	0	2	2	1	2	2	1	1	2	1	18
OPCABG	0	1	3	0	0	2	0	1	0	0	1	1	9
自己血回収	2	3	3	2	2	4	3	4	1	1	3	2	30
IABP	1	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	2	8
PCPS	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
ECLA	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
病棟透析	0	1	1	1	0	2	0	0	2	1	4	3	15
CHD(F)	0	3	2	2	1	0	6	3	5	3	1	4	30
LCAP	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0	7
GCAP	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
腹水濃縮再静注	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
LDL	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
DFPP	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
PE	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
PBSCH	0	0	0	1	2	2	4	2	0	0	0	2	13
Cool-tip	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	6
RFA	1	1	3	5	5	3	7	3	3	4	5	7	47
機器点検件数	547	637	1,013	1,140	1,232	1,134	1,321	1,298	1,205	1,177	1,164	1,173	13,041
機器修理件数	10	22	11	3	16	1	1	3	3	9	20	8	107
ラウンド実施数	19	21	21	21	21	15	47	38	60	44	23	34	364
新規装着患者数	4	2	2	4	3	0	4	6	2	3	2	5	37
RST回診数	4	4	2	4	1	1	6	3	3	2	1	1	32
PSG実施数	1	0	3	3	3	1	5	7	3	6	18	8	58
CPAP導入患者数	1	0	2	2	1	1	1	0	0	3	3	5	19
CPAP外来(解析)数	23	25	23	27	14	9	27	25	27	18	20	34	272
HMV訪問数	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	13
HMV外来数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

## 【平成 24 年度の業績報告】

### <学会・研究会発表>

1. 吉村規子、奥村博一、松下佳織、竹崎佐弥香、上田紘平、木村啓志、津田正子、寺内茂、戸田省吾  
「睡眠時無呼吸症候群患者に対する当院の関わり～CPAP 外来を開始して～」  
第 22 回社団法人日本臨床工学会  
平成 24 年 5 月 12 日 於:富山
2. 吉村規子  
「当院における CRRT の関わり」  
第 16 回滋賀県急性血液浄化セミナー  
平成 24 年 7 月 28 日 於:草津
3. 吉村規子  
「臨床工学技士における SAS 業務」  
SAS セミナー  
平成 25 年 1 月 20 日 於:近江八幡
4. 木村啓志  
「臨床工学技士と病院設備の関わり」  
第 1 回京滋合同 ME 機器セミナー  
平成 25 年 2 月 10 日 於:京都

### <シンポジウム>

1. 木村啓志  
「医療機器管理とは？」  
第 19 回近畿臨床工学会  
平成 24 年 10 月 20 日 於:和歌山

【平成 24 年度 給食数一覧表】

(単位:食)

食種名	年度合計	1ヶ月当り平均	1日当り平均	1食区分当り平均
成人食A	53,240	4,437	146	49
成人食B	44,176	3,681	121	40
成人食C	24,718	2,060	68	23
学齢児A	288	24	1	
学齢児B	267	22	1	
産後食	4,788	399	13	4
軟食2	5,540	462	15	5
軟食3	20,652	1,721	57	19
軟食4	59,962	4,997	164	55
ミキサー食	758	63	2	1
アイソカルブディング食	436	36	1	
嚥下訓練食Ⅰ	44	4		
嚥下訓練食Ⅱ	2,947	246	8	3
嚥下訓練食Ⅲ	5,402	450	15	5
嚥下訓練食Ⅳ	11,009	917	30	10
嚥下訓練食Ⅴ	4,110	343	11	4
咀嚼く支援食	4,561	380	12	4
幼児食1	0			
幼児食2	16	1		
幼児食3	4			
幼児食4	298	25	1	
幼児食5	906	76	2	1
小児食A1	0			
小児食A2	9	1		
小児食A3	17	1		
小児食A4	303	25	1	
小児食A5	1,019	85	3	1
小児食B1	2			
小児食B2	0			
小児食B3	16	1		
小児食B4	170	14		
小児食B5	752	63	2	1
離乳食A	0			
離乳食B	40	3		
離乳食C	208	17	1	
離乳食D	193	16	1	
離乳食E	285	24	1	
普通流動食	1,419	118	4	1
高蛋白流動食	77	6		
維持流動食	144	12		
濃厚流動食	15,687	1,307	43	14
濃厚流動食バッグ	12,186	1,016	33	11
胃切除後食1	86	7		
胃切除後食2	273	23	1	
胃切除後食3	506	42	1	
胃切除後食4	2,136	178	6	2
胃切除後食5	1,918	160	5	2
潰瘍食1	253	21	1	
潰瘍食2	1,033	86	3	1
潰瘍食3	1,190	99	3	1
潰瘍食4	1,440	120	4	1
潰瘍食5	360	30	1	

(単位:食)

食 種 名	年度合計	1ヶ月当り平均	1日当り平均	1食区分当り平均
心臓病食Ⅰ1	2			
心臓病食Ⅰ2	23	2		
心臓病食Ⅰ3	445	37	1	
心臓病食Ⅰ4	928	77	3	1
心臓病食Ⅰ5	286	24	1	
心臓病食Ⅱ1	0			
心臓病食Ⅱ2	123	10		
心臓病食Ⅱ3	256	21	1	
心臓病食Ⅱ4	1,077	90	3	1
心臓病食Ⅱ5	1,269	106	3	1
心臓病食Ⅱ6	1,045	87	3	1
炎症性腸疾患食1	246	21	1	
炎症性腸疾患食2	2,061	172	6	2
炎症性腸疾患食3	2,514	210	7	2
炎症性腸疾患食4	3,745	312	10	3
炎症性腸疾患食5	927	77	3	1
肝臓病食ⅠA	45	4		
肝臓病食ⅠB	192	16	1	
肝臓病食Ⅱ	400	33	1	
肝臓病食Ⅲ	223	19	1	
肝臓病食ⅣA	929	77	3	1
肝臓病食ⅣB	56	5		
肝臓病食Ⅴ	504	42	1	
胆石・胆嚢炎食1	19	2		
胆石・胆嚢炎食2	1,077	90	3	1
胆石・胆嚢炎食3	1,760	147	5	2
胆石・胆嚢炎食4	1,234	103	3	1
胆石・胆嚢炎食5	172	14		
膵臓病食1	142	12		
膵臓病食2	805	67	2	1
膵臓病食3	953	79	3	1
膵臓病食4	1,341	112	4	1
膵臓病食5	232	19	1	
腎臓病食ⅠA	760	63	2	1
腎臓病食ⅠB	29	2		
腎臓病食ⅠC	578	48	2	1
腎臓病食ⅡA	1,746	146	5	2
腎臓病食ⅡB	1,316	110	4	1
腎臓病食ⅡC	193	16	1	
腎臓病食ⅢA	382	32	1	
腎臓病食ⅢB	420	35	1	
腎臓病食ⅢC	225	19	1	
腎臓病食ⅣA	65	5		
腎臓病食ⅣB	12	1		
腎臓病食ⅣC	0			
透析食A	1,190	99	3	1
透析食B	986	82	3	1
透析食C	764	64	2	1
透析食D	383	32	1	
CAPD食A	0			
CAPD食B	15	1		
妊娠高血圧症候群食 (妊娠中毒症食)A	376	31	1	
妊娠高血圧症候群食 (妊娠中毒症食)B	308	26	1	(単位:食)

食種名	年度合計	1ヶ月当り平均	1日当り平均	1食区分当り平均
糖尿病食A	4,052	338	11	6.4
糖尿病食B	8,285	690	23	8
糖尿病食C	12,085	1,007	33	11
糖尿病食D	6,045	504	17	3
糖尿病食E	924	77	3	1
糖尿病性腎症食IA	388	32	1	
糖尿病性腎症食IB	1,008	84	3	1
糖尿病性腎症食IC	689	57	2	1
糖尿病性腎症食IIA	343	29	1	
糖尿病性腎症食IIB	392	33	1	
糖尿病性腎症食IIC	802	67	2	1
痛風食A	48	4		
痛風食B	191	16	1	
高血圧食A	2,419	202	7	2
高血圧食B	292	24	1	
脂質異常症食A	27	2		
脂質異常症食B	136	11		
脂質異常症食C	53	4		
貧血食	618	52	2	1
肥満症食A	0			
肥満症食B	132	11		
肥満症食C	0			
肥満症食D	0			
甲状腺機能検査食	0			
注腸検査食	14	1		
その他	96	8		
患者計	359,662	29,972	985	328
患者外(検食)計	2,617	218	7	2
合計	362,279	30,190	993	331

## 【<入院>平成24年度 栄養食事指導実施状況】

月	対象疾患（件）											合計	栄養食事指導料算定件数	※1日平均指導件数
	糖尿病（耐糖能異常含）	肥満症	脂質異常症	心疾患	高血圧症	腎疾患	食道・胃・十二指腸疾患	肝疾患	胆・膵疾患	腸疾患（十二指腸以外）	その他			
4月	26	0	1	0	1	4	10	0	0	2		44	39	2.2
5月	18	0	1	1	1	3	1	0	0	0	急性リンパ性白血病1	26	23	1.2
6月	19	0	1	2	0	4	4	0	0	0	痛風1	31	26	1.5
7月	19	0	2	2	0	2	3	0	0	0	癌性腹膜炎1	29	26	1.4
8月	23	0	0	3	0	8	13	0	0	0		47	38	2.0
9月	14	0	0	0	1	4	7	0	2	0		28	25	1.5
10月	18	0	0	2	0	2	6	0	0	0		28	21	1.3
11月	12	0	0	2	0	2	11	0	1	1		29	28	1.4
12月	22	0	0	3	0	5	5	0	1	0	周期性嘔吐症1 低栄養状態1	38	34	2.0
1月	18	0	0	2	0	0	8	1	1	1		31	28	1.6
2月	24	0	0	1	1	4	7	0	1	0		38	36	2.0
3月	16	0	0	1	0	9	11	1	0	2		40	37	2.0
合計	229	0	5	19	4	47	86	2	6	6	5	409	361	
%	56.0	0.0	1.2	4.6	1.0	11.5	21.0	0.5	1.5	1.5	1.2	100.0		
月平均	19.1	0.0	0.4	1.6	0.3	3.9	7.2	0.2	0.5	0.5	0.4	34.1	30.1	1.7

栄養食事指導料平均算定率 88.3（%）

※「1日平均指導件数」は、指導件数の合計を、同月の<外来>栄養食事指導指導日数で除したもの。  
 なお、<外来>栄養食事指導実施日数は、「<外来>平成24年度栄養食事指導実施状況」を参照。

## 【<外来>平成24年度 栄養食事指導実施状況】

月	日数（日）	対象疾患（件）											合計	栄養食事指導料算定件数	※1日平均指導件数
		糖尿病（耐糖能異常含）	肥満症	脂質異常症	心疾患	高血圧症	腎疾患	食道・胃・十二指腸疾患	肝疾患	胆・膵疾患	腸疾患（十二指腸以外）	その他			
4月	20	12	0	1	0	1	6	0	0	0	1	21	21	1.1	
5月	21	13	0	4	0	0	4	0	0	0	0	22	20	1.0	
6月	21	22	0	4	1	0	4	0	1	0	0	33	29	1.6	
7月	21	14	0	2	2	0	8	0	2	0	0	32	28	1.5	
8月	23	19	0	2	0	0	6	0	1	0	0	29	26	1.3	
9月	19	20	0	4	0	1	9	0	0	0	0	34	28	1.8	
10月	22	11	0	4	0	0	3	0	0	0	0	18	16	0.8	
11月	21	15	0	4	0	0	5	0	0	0	0	25	22	1.2	
12月	19	10	0	6	0	0	2	0	1	0	0	21	20	1.1	
1月	19	12	0	2	2	2	1	0	4	0	0	23	21	1.2	
2月	19	17	0	3	0	1	2	0	2	0	1	28	24	1.5	
3月	20	17	0	1	0	1	2	0	0	0	0	23	20	1.2	
合計	245	182	0	37	5	6	52	0	11	0	2	309	275		
%		58.9	0.0	12.0	1.6	1.9	16.8	0.0	3.6	0.0	0.6	99.9			
月平均	20.4	15.2	0.0	3.1	0.4	0.5	4.3	0.0	0.9	0.0	0.2	25.8	22.9	1.3	

栄養食事指導料平均算定率 89.0（%）

## 【<集团>平成 24 年度 栄養食事指導実施状況】

①糖尿病教室(講義)

開催月	回数 (回)	出席者数 (人)				
		入院		外来		合計
		患者	家族	患者	家族	
4月	4	25	5	5	0	35
5月	5	17	6	5	1	29
6月	4	19	0	4	1	24
7月	5	16	2	14	1	33
8月	4	13	2	9	0	24
9月	4	15	5	14	3	37
10月	5	15	0	13	3	31
11月	4	12	2	4	0	18
12月	4	17	2	2	0	21
1月	4	14	0	5	1	20
2月	4	24	3	6	1	34
3月	4	15	2	1	1	19
合計	51	202	29	82	12	325
月平均	4.3	16.8	2.4	6.8	1.0	27.1
1回当り平均		4.0	0.6	1.6	0.2	6.4

②糖尿病教室(献立教室)

開催月	回数 (回)	出席者数 (人)		
		入院		合計
		患者	家族	
4月	4	27	3	30
5月	4	12	3	15
6月	4	12	0	12
7月	5	13	2	15
8月	4	10	0	10
9月	4	14	2	16
10月	5	13	0	13
11月	4	6	2	8
12月	4	18	1	19
1月	4	11	0	11
2月	4	23	3	26
3月	4	16	4	20
合計	50	175	20	195
月平均	4.2	14.6	1.7	16.3
1回当り平均		3.5	0.4	3.9

## 【平成 24 年度 調理・調整指導実施状況】

(単位:回)

	合計	濃厚流動食 固形化	嚥下訓練食	ミキサー食	軟食	咀嚼やく 支援食	栄養補助 食品の 使用方法
4月	3	0	3	0	0	0	0
5月	1	0	1	0	0	0	0
6月	2	1	0	0	1	0	0
7月	1	0	1	0	0	0	0
8月	2	1	1	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0
10月	3	0	2	0	0	0	1
11月	1	0	1	0	0	0	0
12月	4	3	0	1	0	0	0
1月	4	2	1	0	0	1	0
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0
合計	21	7	10	1	1	1	1
月平均	1.8	0.6	0.8	0.1	0.1	0.1	0.1

## 【平成 24 年度 NST全体カンファレンスおよび回診実施状況】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均		
新規 対象者 (人)	依頼書 受付	4	5	2	1	3	4	5	1	2	5	3	5	40	79	3.3	6.6 人
	自動 抽出	4	3	5	3	6	4	3	3	2	3	1	2	39		3.3	
中止(人)		0	0	0	1	0	1	3	0	0	1	0	1	7	0.6 人		
終了(人)		0	0	1	1	0	2	4	0	2	2	2	4	18	1.5 人		
退院(人)		3	5	6	3	8	2	4	4	5	4	2	2	48	4.0 人		
継続(人)		6	9	9	8	9	12	9	9	6	7	7	7	—	—		
回数(回)		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	4.0 回		
延べ時間		3時間 20分	4時間 40分	5時間 50分	3時間 55分	5時間 20分	5時間 10分	5時間 55分	5時間 05分	5時間 10分	5時間 00分	5時間 15分	5時間 00分	59時間 40分	4時間 58分		
1回当り所要時 間(分) (延べ時間/回数)		50	70	88	59	80	78	89	76	78	75	79	75	—	75 分		
延べ人数		10	19	22	19	25	26	25	22	18	21	18	23	248	20.7 人		
1回当り人数(人) (延べ人数/回数)		2.5	4.8	5.5	4.8	6.3	6.5	6.3	5.5	4.5	5.3	4.5	5.8	—	5.2 人		

## 【平成 24 年度 特定保健指導実施状況】

対象者数	初回面接指導	6ヶ月後実績評価
7人	7件	7件

## 【平成 24 年度 看護教育活動(教育委員会を除く)評価】

### 1. 学会参加、発表

- 1) 各所属での専門性を高めるために、積極的に学会参加し、他施設での取り組みや最新情報を得ることができた。
- 2) 学会等の発表は 11 題であり、参加者は 20 名。  
他、院外(県内・県外)研修受講者は 213 名。  
(出張:176 名、専免:12 名、私費:25 名)

### 2. 研修参加

- 1) 滋賀県看護協会主催の研修受講者は 234 名。  
(出張:196 名、私費:38 名)
- 2) 診療報酬算定に関与する資格認定
  - ①糖尿病認定看護師:山内光子(6ヶ月間の研修終了)
  - ②摂食・嚥下認定看護師:西真由美(6ヶ月間の研修終了)
  - ③NST 専門療法士 I :4 名が受講し、研修終了。
  - ④関西ストーマケア講習会:1 名(8B 病棟)が受講し、研修終了。
- 3) 認定看護管理者研修
  - ①ファーストレベル研修:5 名  
(看護局:3 名、医療の質・安全管理室:1 名、地域医療連携室:1 名)
  - ②セカンドレベル研修:1 名が受講し、研修終了。
- 4) 助産師キャリアアップ研修(滋賀県助産師キャリアアップ研修による助産師の育成)
  - ①中堅キャリアアップ研修:2 名、新人キャリアアップ研修:4 名が受講。  
中堅 2 名、新人 3 名が研修終了。
  - ②新生児蘇生 A コース:6 名が受講(出張:5 名、私費:1 名)し、研修終了。
  - ③胎児モニタリング(プラクティカル CTG)判読研修:2 名が受講し、研修終了。
  - ④院内助産に関わる助産師の質の向上を目指し、積極的に研修に参加。  
出張:4 名(3 主催研修)、私費:33 名(9 主催研修)  
①②③の研修については、産科の基幹研修として、次年度も継続。
- 5) 周産期医療研修会(看護 B コース;NICU 編)  
NICU の看護の質の向上に関わる 3 日間の研修を、奥村紀子が受講し、研修終了。
- 6) 講師としての参加(出張)  
「エンド・オブ・ライフ」研修(主催:滋賀県看護協会)にがん看護専門看護師の杉江礼子が参加。  
「産科混合病棟におけるユニットマネジメント」(主催:大阪看護協会)に、講師として助産師の初田聡美が参加。

【平成 24 年度 教育研修実施報告】

経年別	到達目標	能力	日時	参加数	研修名	ねい	場所
卒後 1 年目	＜目的＞ 看護士として必要の基本的姿勢や態度を身につけ、チームメンバーとして看護実践力を高める	看護実践能力	5/17	17名	フィジカルアセスメント(総論)～観察力を身につけよう	1.フィジカルアセスメントの必要物理解できる 2.呼吸・循環・神経系に対するアセスメントの技術と看護学が	A・B
			6/6	卒 1 17名 その他 8名	看護必要度を理解しよう	1.看護必要度の概念と導入目的が理解できる 2.看護必要度チェック項目が理解できる 3.看護必要度テストに合格する	A・B
			7/4	卒 1 17名 その他 3名	NANDA- I 看護診断の理解	1.NANDA- I 看護診断の基礎を理解する 2.各領域のアセスメント及び統合アセスメントを理解する 3.事例を用いてアセスメントの実際を鑑別する	A
			9/5	17名	新人看護士が起しやれし 事故を 考える一過去の事例から	1.新人看護士が起しやれし 事故内容を考えることができる 2.事例を通して部活動に潜んでいる状態を理解することができる	A・B
			10/3	17名	因察事故の分析手法の理解	1.因察事故の分析手法の概念を学ぶ 2.事例分析の実際を通して事故分析能力を向上させ、再発防止策を立案することができる	A・B
			10/29	16名	予防的スキニング	臨床における予防的スキニングを学び実践できる	A・B
			12/6	16名	AED・BLSをマスターしよう	1.救急蘇生の必要物理解できる 2.BLSが実施できる 3.AEDの使用法を習得できる	A・B・C
	組織的役割遂行能力	1/18	16名	コミュニケーションスキルを高めよう 一患者・家族に対する 支援的コミュニケーション	1.看護士として行動する上で必要となるコミュニケーションスキルを学ぶ 2.コミュニケーションスキルを身につけて日々の看護ケアに活かすことができる	A・B	
		2/8	16名	院内で行われているチーム 因察を知る	1.当院でのチーム因察について、どのような活動が行われているかを知る 2.チーム因察における看護士の役割を知る 3.因察について理解を広げる	A・B	
	自己教育・研究能力	6/29	17名	交流会	1.入職以来の経歴を話し、現在の自己の思いや考えを1年目同士で意見交換することでスリッシュできる 2.自己の考えを語り合うことにより、自身の振り返りができる	付属棟 3 F —	
		9/28	17名	交流会	1.入職以来の経歴を話し、現在の自己の思いや考えを1年目同士で意見交換することでスリッシュできる 2.自己の考えを語り合うことにより、自身の振り返りができる	付属棟 3 F —	

経年別	到達目標	能力	日時	参加人数	研修名	ねらい	場所
卒後2年目	<目的>看護の体験を通し、科学的根拠に基づいた看護展開能力を高める	看護実践能力	5/14	17名	急変時あなごはどう動く？	1.患者急変時の対応が理解できる 2.救急カート内の物品・薬品の使用目的が理解できる 3.気管内挿管時の介助方法を習得できる	第2
			6/11	15名	糖尿病を理解しよう	糖尿病の基礎を理解する	A・B
			9/10	17名	フィジカルアセスメント各論	フィジカルアセスメントの意義について復習し、呼吸・循環におけるアセスメントの実際を学ぶ	A・B
			10/12	17名	フィジカルアセスメント各論	フィジカルアセスメントの意義について復習し、呼吸・循環におけるアセスメントの実際を学ぶ	A・B
		組織的役割遂行能力	10/15	15名	日替わりチームリーダーの役割と業務	日替わりチームリーダーの役割と業務について理解し、行動に移すことができる	A
			1/21	15名	人間関係をより良くするために —交流分析を通して—	1.自分と相手を知ることで、仕事での人間関係をよりよくする方法を学ぶ 2.自分らしく生きるためのコミュニケーションを習得する	A・B
		自己教育能力・研究能力	12/10	15名	ケーススタディ	1.科学的根拠に基づいた看護過程を展開することができる 2.ケースを通して看護を振り返ることで自己の看護観を高めることができる	A・B

経年別	到達目標	能力	日時	参加人数	研修名	ねらい
卒後3年目	<目的>自己の看護観を確立させると共に、後輩の指導力を高める	看護実践能力	5/28	13名	急変時の薬剤	救急カート内にある薬剤の作用と使用方法が理解できる
			11/5	12名	災害看護Ⅰ	1.災害に関する基礎的知識を習得する 2.災害時の災害拠点病院の役割を理解する
			12/3	12名	災害看護Ⅱ	災害時に被災者に対して正しいトリアージができる
		組織的役割遂行能力	7/19	12名	夜勤リーダーの役割と業務	固定チームナースにおける夜勤チームリーダーの役割と業務について理解し、行動に移すことができる
		自己教育能力・研究能力	1/17	12名	私の看護観	事例を通し、自己の看護観を見つめなおすことができる

経年別	到達目標	能力	日時	参加人数	研修名	ねらい
キャリアアップ	<目的>自己のキャリアを発揮し、看護専門職業人として組織における役割が遂行できる	看護実践能力	10/5	63名	心電図モニター	心電図モニターのアラームの意味を正しく理解し、危機管理意識を持って対応できる
			6/15	100名	認知症を知ろう 1	認知症患者を理解する
			6/22	93名	認知症を知ろう 2	認知症ケアの実際を学ぶ
			11/15	74名	血糖コントロール 1	1.血糖コントロールの必要性が理解できる 2.術前術後の血糖コントロール不良による危険性が理解できる
			12/20	69名	血糖コントロール 2	1.スライディングスケールの目的を正しく理解できる 2.低血糖時対応指示を理由つけて理解できる
			2/1	68名	血糖コントロール 3	最新の糖尿病薬と服用中の注意事項を理解できる
		自己教育・研究能力	8/2	77名	看護研究	1.看護研究の動向と課題を知る 2.看護研究の目的と異議を理解する 3.看護研究のプロセスを理解する
集中研修		看護実践能力	7/13 7/20	100名	摂食・嚥下障害の看護 *公開講座	1.摂食・嚥下の仕組みとその障害について理解する 2.摂食・嚥下訓練の実際を学び、看護実践に活かす
			11/30	87名	終末期看護 *公開講座	終末期ケアの特徴を理解し、日々の実践に活かしていくことができる
			9/3 11/9	60名	看護師のメンタルヘルスケア *公開講座	メンタルヘルスケアを学習し、自分自身をストレスから守るためのストレス緩和方法を学ぶ
			1/7	95名	看護の本質と技	看護の力、限りない可能性を引き出す心と技について学び、自己の看護実践を振り返る
主任・主査		自己教育・研究能力	1/28	14名	自己目標を達成する	1.指導者としての役割を理解し、自己目標が達成できるよう取り組むことができる 2.自己目標達成の成果をまとめ、発表することができる

## 【平成 24 年度の業績報告】

### <学会報告>

1. 沖田文代、山下亜希、四井真由美  
「インスリン自己注射におけるエラーの傾向と理由の分析」  
第 43 回日本看護学会成人看護Ⅱ  
平成 24 年 11 月 6 日～7 日 於:茨城県つくば国際会議場
2. 山田親代  
「人工呼吸管理を病棟で行う看護師の現状と課題」
3. 梶浦亜加音、中邑布美代、熊澤美保子  
「皮膚障害判別基準を設定した褥瘡発生好発部位観察表の導入」  
第 26 回日本手術看護学会年次大会  
平成 24 年 11 月 23 日 於:パシフィコ横浜
4. 山田親代  
「地域基幹病院における集中治療室 3(看護師の立場から)看護師が治療方針決定に関わるための ICU プロトコル管理」
5. 岡田真奈、三宅由貴、市岡美奈子、初田聡美  
「妊娠中のセルフケア行動の高低による分娩満足度及び育児肯定感の比較」  
第 53 回日本母性衛生学会学術集会  
平成 24 年 11 月 16 日～17 日 於:アクロス福岡
6. 八田香菜子、加賀奈緒子、南部志津子、奥村紀子、大田福子  
「小児科新生児室における避難訓練の取り組み」  
第 26 回京滋未熟児新生児研究会  
平成 24 年 12 月 22 日 於:京都平安ホテル
7. 洞沙耶花、吉見綾乃、山田親代、立山満久  
「A ライン加圧バック内へのヘパリン加注の必要性について」  
第 40 回日本集中治療医学会学術集会  
平成 25 年 2 月 28 日～3 月 2 日 於:長野県松本市
8. 奥野あす香  
「XELOX 療法施行時の副作用マネジメント介入による治療完遂率の向上の可能性～ANNEX Study を通して～」  
びわこオンコロジーナーズカンファレンス  
平成 25 年 2 月 16 日 於:ピアザ淡海

### <学術論文>

1. 山本直子、市岡美奈子、山田裕子、初田聡美  
「性教育が中学生の自己肯定意識に与える影響－男女差による検討－」  
滋賀母性衛生学会誌 12:5-10, 2012

## 【平成 24 年度 講師派遣実績等】

月日	領域	内容	所属	氏名	
6/1	性教育	職場体験学習: 大津市立青山中学校 2 年生	5B	岡田 真奈	
			3B	横田 耕治	
			看護局	上田 かよ子	
6/15		命の学習: 中学 3 年生	5B	朝見 彩香	
			5B	三宅 由貴	
11/2		性教育授業: 北大路中学校	5B	上田 彩乃	
			5B	岡田 真奈	
2/19		性教育授業: 瀬田中学校	5B	市岡 美奈子	
			5B	上田 彩乃	
8/25	助産師基礎教育	看護系大学助産師教育研究会 第 2 回ワークショップ 「助産師基礎教育における教育法」	5B	初田 聡美 (発表)	
2/16	産科病棟 マネジメント	産科混合病棟におけるユニットマネジメント	5B	初田 聡美	
11/5	集中ケア看護	コメディカルのための吸引手技の実際と 注意点	ICU	山田 親代	
11/18	災害訓練	災害医療訓練講師	3B	吉田 修	
11/29	感染対策	感染対策研修会講師 (スペシャリスト実践に学ぶ)	7B	松下 弘美	
12/13	糖尿病看護	湖西圏域における平成 24 年度小規模施設など 看護職員研修講義	外来	山下 亜希	
12/7			健康守り隊 ～おいしく食べてスリム生活習慣病予防～	外来	片山 裕子
				外来	山下 亜希
12/8	緩和ケア	訪問看護師を対象とした疼痛マネジメントの 講義	9A	杉江 礼子	

## 【修了証・認定証保持者一覧(平成17～24年)】

月日	修了証・認定証名	氏名
H17.8	認定看護師「ホスピスケア」	杉江 礼子
H17.8	認定看護師「創傷・オストミー・失禁(WOC)看護」	大森 陽子
H18.7	認定看護師「感染管理」	横谷 恵
H19.3	看護必要度の考え方と評価方法について	河原林 和美
H19.6	第7回日本糖尿病療養指導士	山下 亜希
H19.7	看護必要度の考え方と評価方法について	初田 聡美
H20.1	看護サービスと看護必要度	山本 芳美
H20.3	平成19年度「患者の重症度と看護必要度に関する研修」	四井 真由美
H20.6	認定看護師「集中ケア」	山田 親代
H20.9	第29回透析技術認定士	桑山 隆洋
H21.4	看護必要度研修《基礎コース》	向井 世津子・上林 五月
H21.4	看護必要度研修会《第1回 上級コース》	渡辺 良子
H21.7	「平成21年度第1回糖尿病足病変の指導に従事する方のためのフットケア研修」(17時間)	山下 亜希
H21.9	禁煙認定指導者看護師	金山 美保
H22.6	「2010看護必要度評価者 院内指導者研修」	四井 真由美・川北 智子・堀田 美紀・宮本 真紀子
H22.9	認定看護師「皮膚・排泄ケア」	大森 陽子
H22.11	平成22年度特定健診・特定保健指導実践者育成研修	井上 久美
H22.11	第32回関西ストーマケア講習会	井上(古谷) 佳那
H23.3	栄養サポート(NST)専門療法士	田邊 聡子
H23.3	平成22年度「糖尿病専門分野における質の高い看護師育成研修」	山内 光子
H23.5	日本糖尿病療養指導士	金久 信子・藤永 純宏
H23.5	「2011看護必要度評価者 院内指導者研修」	山元 理恵・津田 礼・田邊 聡子・談議 怜子
H23.6	認定看護師「がん化学療法看護」	奥野 あず香
H23.6	認定看護師「感染管理」	松下 弘美
H23.8	プラクティカルCTG判読スペシャリスト1st認定	山田 裕子・川島 もと子
H23.10	栄養サポート(NST)専門療法士	中川 佳子
H23.11	第33回関西ストーマケア講習会	松田 美奈・乾澤 和美
H23.11	ICU・CCU看護教育セミナー(中級コース)	坂本 浩子
H23.3	専門看護師「がん看護」	杉江 礼子
H23.11	認定看護師「糖尿病看護」	山下 亜希
H23.11	栄養サポート(NST)専門療法士	内田 美智代
H24.3	認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程	山田 ゆかり・丸山 美佳
H24.5	栄養サポート(NST)専門療法士	竹端 弘美・杉本 あゆみ
H24.5	マタニティヨーガ指導者養成ベーシックコース	岡田 真奈・丸山 美佳
H24.5	相談支援センター相談員基礎研修(1)	高橋 智枝子
H24.5	ISO9001内部監査員養成講座	堀田 美紀・川島 もと子・上田 静子
H24.6	「2012看護必要度評価者 院内指導者研修」	寺田 麻子・小川 正孝・西村 洋美・山澤 弘子
H24.6,10,11	NST専門療法士研修	門野 亜弓・堀田 恵子・道念 多美代・力石 美穂子
H24.6	認定看護師「救急看護」	吉田 修
H24.10	「新人看護職員研修 教育担当者研修」	石原 育子・山本 芳美・吉田 律美
H24.10	NST専門療法士研修	堀田 恵子
H24.11	第34回関西ストーマケア講習会	石井 志穂
H24.12	看護必要度評価者 院内指導者研修	大谷 愛子・宮永 一枝・水口 静子・濱 綾香・丸山 美佳

## 【平成 24 年度の主な看護実績】

## ＜年間分娩件数＞

(単位:件)

		平成 23 年度	平成 24 年度	対前年度(件・%)	
分娩件数合計		362	359	▲3	(99.2)
内訳	頭位経膈分娩	242	260	18	(107.4)
	吸引・鉗子分娩	30	20	▲10	(66.7)
	帝王切開	90	79	▲11	(87.8)
	帝王切開率(%)	24.9	22.0	-	(▲2.9)

## ＜月別分娩件数＞

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
分娩件数 合計	H23	37	38	23	30	30	31	22	35	31	34	27	24	362	
	H24	26	28	28	28	36	28	34	28	36	29	26	32	359	
内訳	頭位経膈分娩	H23	24	27	14	19	17	22	17	25	21	19	20	17	242
		H24	15	18	20	19	30	21	25	16	28	24	20	24	260
	吸引・鉗子分娩	H23	0	4	1	6	3	1	2	6	3	3	0	1	30
		H24	2	4	0	2	0	2	4	2	0	0	2	2	20
	帝王切開	H23	13	7	8	5	10	8	3	4	7	12	7	6	90
		H24	9	6	8	7	6	5	5	10	8	5	4	6	79

平成 23 年度帝王切開率(%)	24.9
平成 24 年度帝王切開率(%)	22.0

## ＜早産件数＞

(単位:件)

妊娠週数	33週	34週	35週	36週	合計
平成 23 年度	2	1	3	11	17
平成 24 年度	1	1	1	6	9

## ＜院内助産件数(平成 23 年 10 月開設)＞

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	収入(円)
H23	-	-	-	-	-	-	2	7	4	2	2	1	18	7,603,540
H24	2	2	3	1	4	4	2	3	3	3	3	4	34	14,858,440

＜助産師外来受診者数＞

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
受診者数 合計	H23	52	40	42	54	59	48	42	70	46	62	42	38	595	
	H24	56	57	65	76	70	73	84	78	87	84	75	85	890	
内訳	妊婦健診	H23	48	40	42	53	56	47	40	66	41	56	40	35	564
		H24	52	51	55	61	57	61	57	55	62	60	55	61	687
	2週間健診	H23	0	0	0	0	1	0	1	2	4	3	2	2	15
		H24	3	4	10	10	11	12	20	16	20	21	15	21	163
	(母乳相談等) 産後ケア	H23	4	0	0	1	2	1	1	2	1	3	0	1	16
		H24	1	2	0	5	2	0	7	7	5	3	5	3	40

＜助産師外来収入＞

自費診療 3,000円/回	平成23年度	595人×3,000円=1,785,000円
	平成24年度	890人×3,000円=2,670,000円

＜中期母親教室受講者数＞

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23	6	6	12	9	3	7	4	1	5	2	5	5	65
H24	5	11	10	9	5	7	6	7	5	1	6	5	77

＜後期母親教室受講者数＞

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23	31	14	24	20	28	18	23	20	21	18	18	22	257
H24	24	27	22	28	31	19	29	24	23	21	23	24	295

＜妊婦の小集団指導(スマイルママ)受講者数＞

(単位:人)

	平成23年度	平成24年度
母乳(10回)	28	32
骨盤ケア(3回)	4	-
ヨガ(11回)	57	77
体重コントロール(6回)	14	-
アロマ(7回)	24	51
ベビータッチ(2回)	11	43
合計	138	203

<地域との看護連携数(ハイリスク妊産婦 新生児訪問指導依頼票の提出数)>

	平成 23 年度		平成 24 年度	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
身体的要因(妊娠高血圧・早産・母体の既往疾患など)	25	21.2	38	31.9
社会的要因(経済面・家庭環境・未婚・外国籍妊婦)	65	55.1	40	33.6
育児不安	28	23.7	41	34.5
合計	118	100.0	119	100.0

<1ヶ月健診保健指導件数>

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23	35	30	39	22	25	32	18	26	31	24	33	29	344
H24	21	29	25	21	32	28	29	31	27	36	31	24	334

<性教育授業への助産師派遣>

平成 23 年度			平成 24 年度		
派遣中学校	対象	派遣日	派遣中学校	対象	派遣日
大津市立田上中学校	3年生	7月5日	大津市立田上中学校	3年生	6月27日
大津市立北大路中学校	3年生	12月6日	大津市立打出中学校	3年生	7月6日
大津市立南郷中学校	2年生	2月8日	大津市立北大路中学校	3年生	11月2日
			大津市立瀬田中学校	3年生	2月19日

【平成 24 年度の業績報告】

<学会報告>

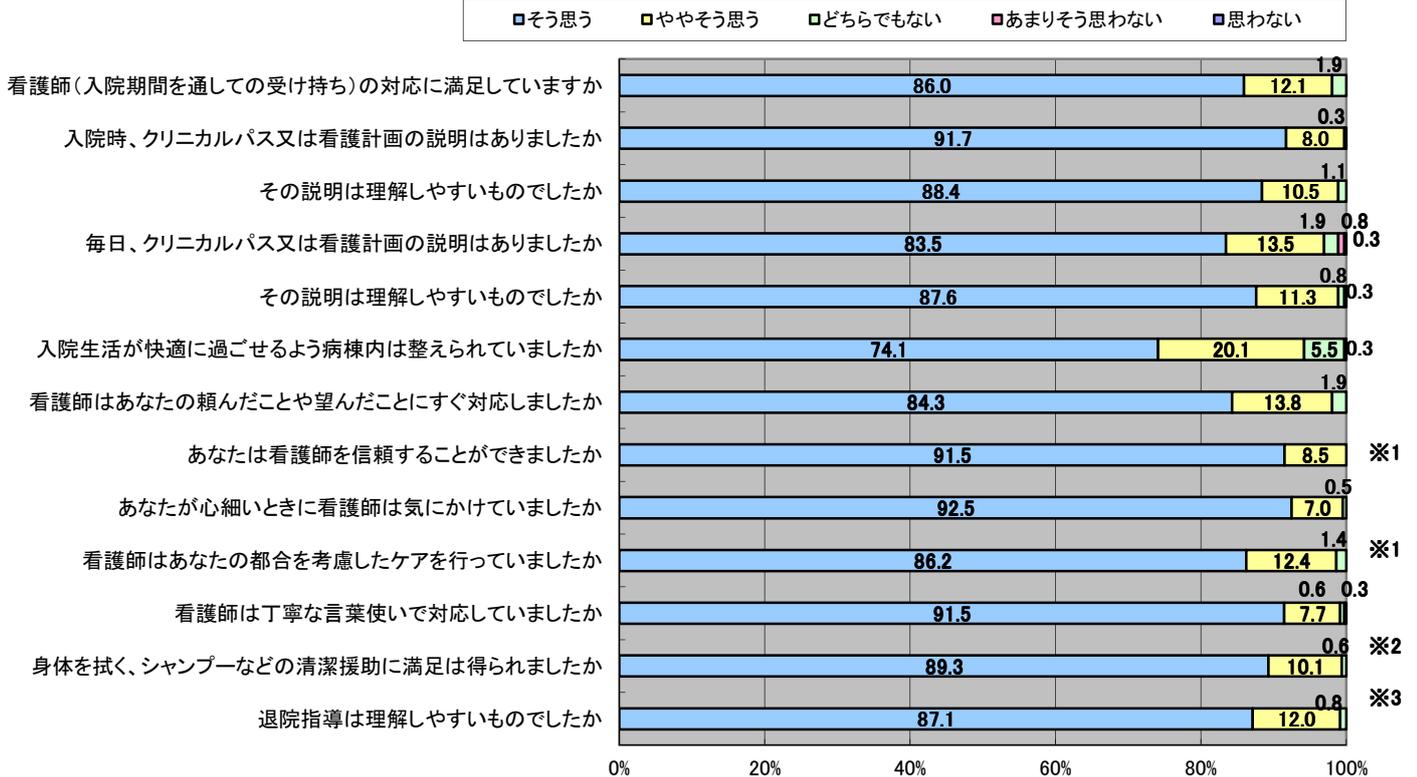
- 岡田真奈、三宅由貴、市岡美奈子、初田聡美、岡山久代\*、正木紀代子\*  
大津市民病院 5B 病棟 滋賀医科大学医学部看護学科\*  
「妊娠中のセルフケア行動の高低による分娩満足度及び育児肯定感の比較」  
第 53 回日本母性衛生学会学術集会  
平成 24 年 11 月 16 日～17 日 於:アクロス福岡

<学術論文>

- 山田裕子、山本直子、市岡美奈子、初田聡美、西川みゆき\*  
大津市民病院 5B 病棟 京都光華女子大学健康科学部看護学科\*  
「性教育が中学生の自己肯定意識に与える影響－男女差による検討－」  
滋賀母性衛生学会誌 12:5-10, 2012

## 【平成 24 年度 5B 病棟 患者満足度調査】

(n=363)



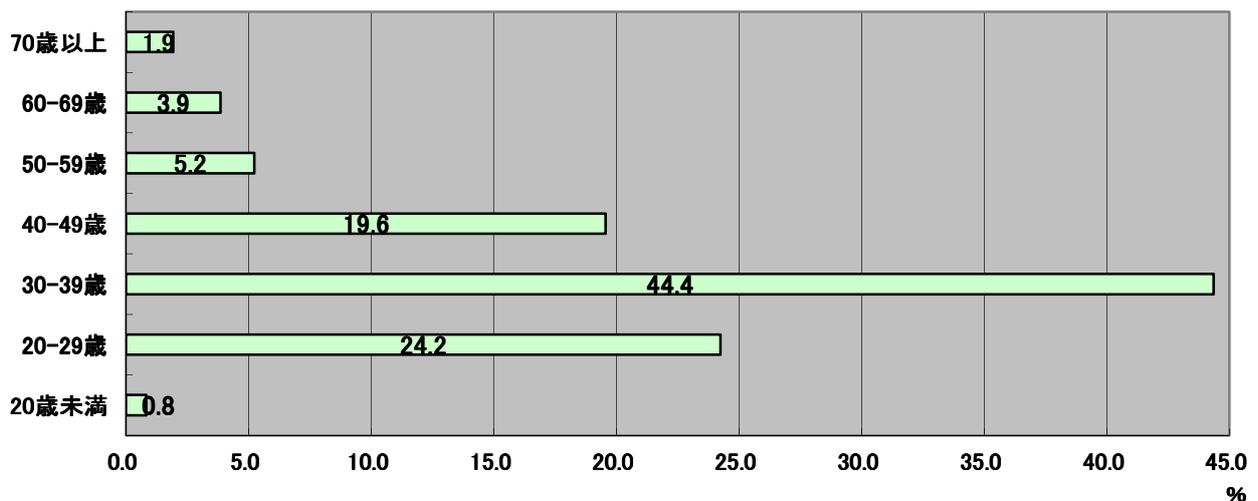
※1 婦人科患者を対象としている。(n=200)

※2 婦人科患者かつ清潔ケアを受けた患者のみアンケート対象としている。(n=159)

※3 退院指導を受けた患者のみアンケート対象としている。(n=294)

## 【平成 24 年度 5B 病棟 5 歳年齢階級別患者割合】

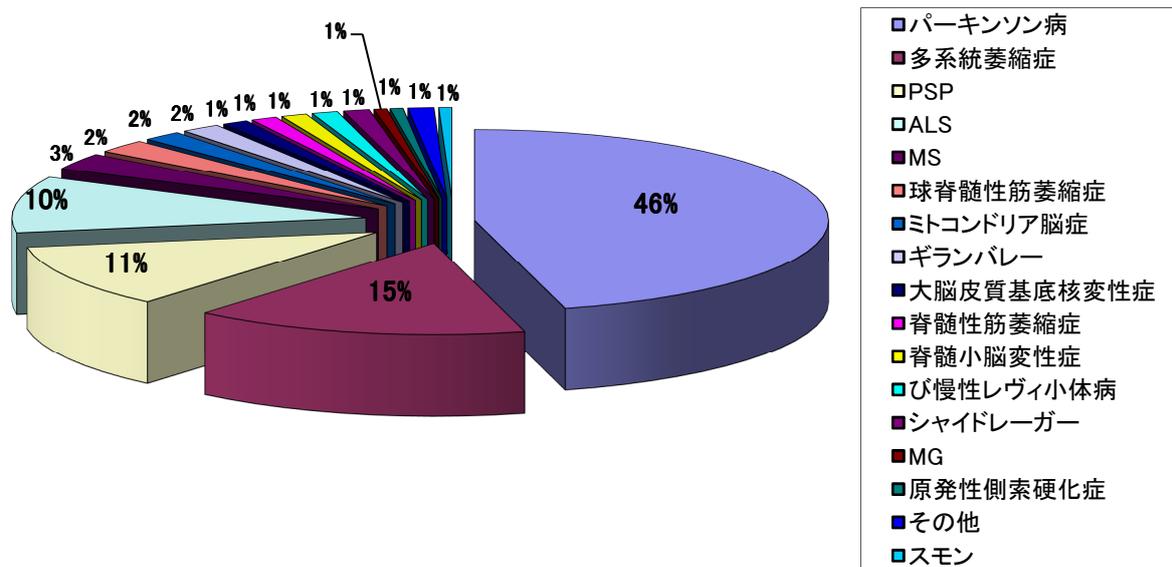
(n=363)



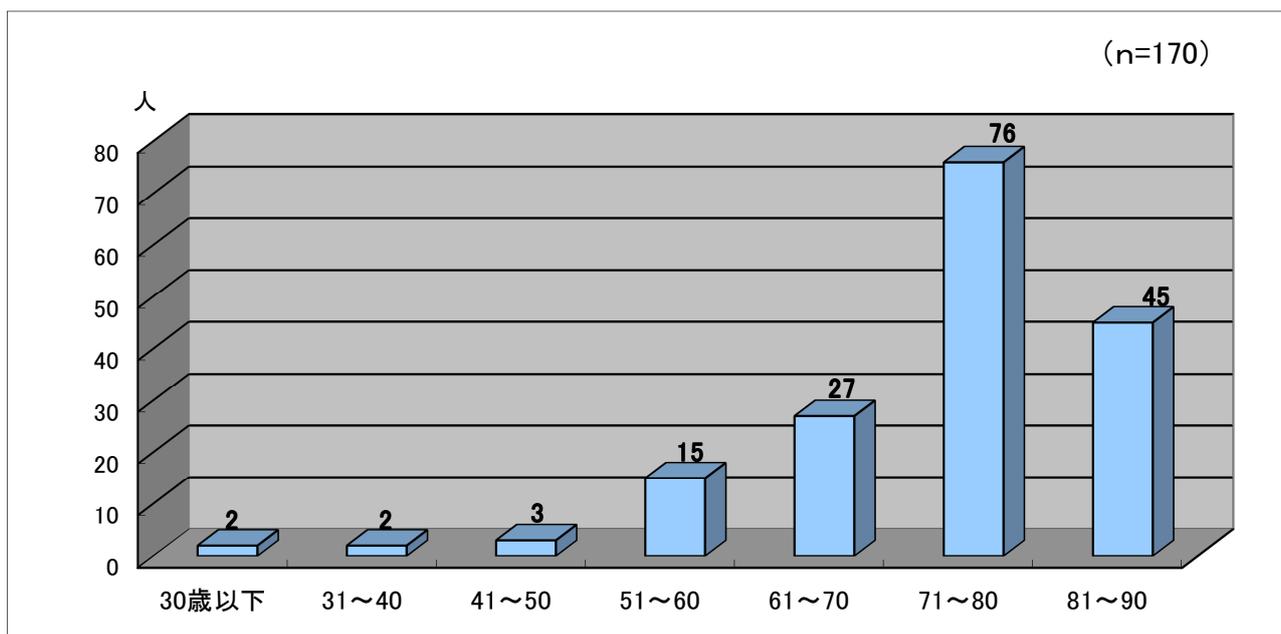
● 神経難病病棟の役割および機能 ●

- 神経難病患者の医療体制の拠点的機能を担う
- 緊急時、レスパイト時等の神経難病患者の受け入れと適切なケアを行う
- 関係機関と連携を図り、神経難病患者の在宅療養に向けての支援を行う

【平成 24 年度 入院患者の疾患名別割合】



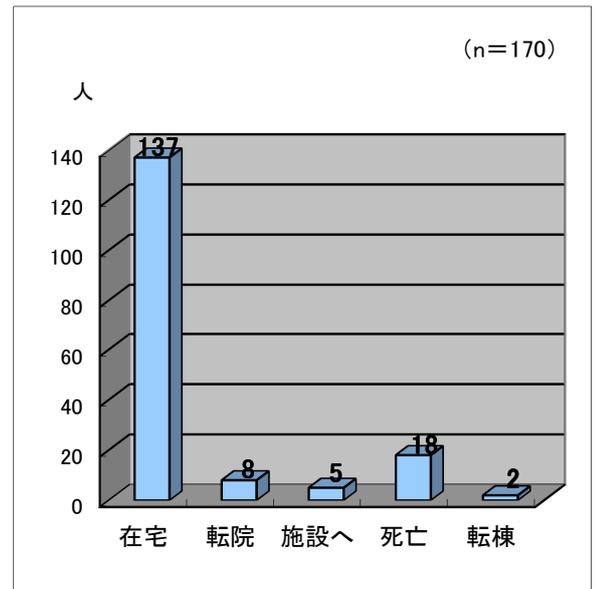
【平成 24 年度 入院患者の年齢別区分】



### 【平成 24 年度 5C 病棟入院患者の入院目的】

入院目的	人数
治療	66
レスパイト	49
リハビリ	25
胃瘻・レスパイト	17
薬剤調整	7
精密検査	4
胃瘻交換	1
胃瘻・呼吸器設定調整	1
合計	170

### 【平成 24 年度 入院患者の転帰】

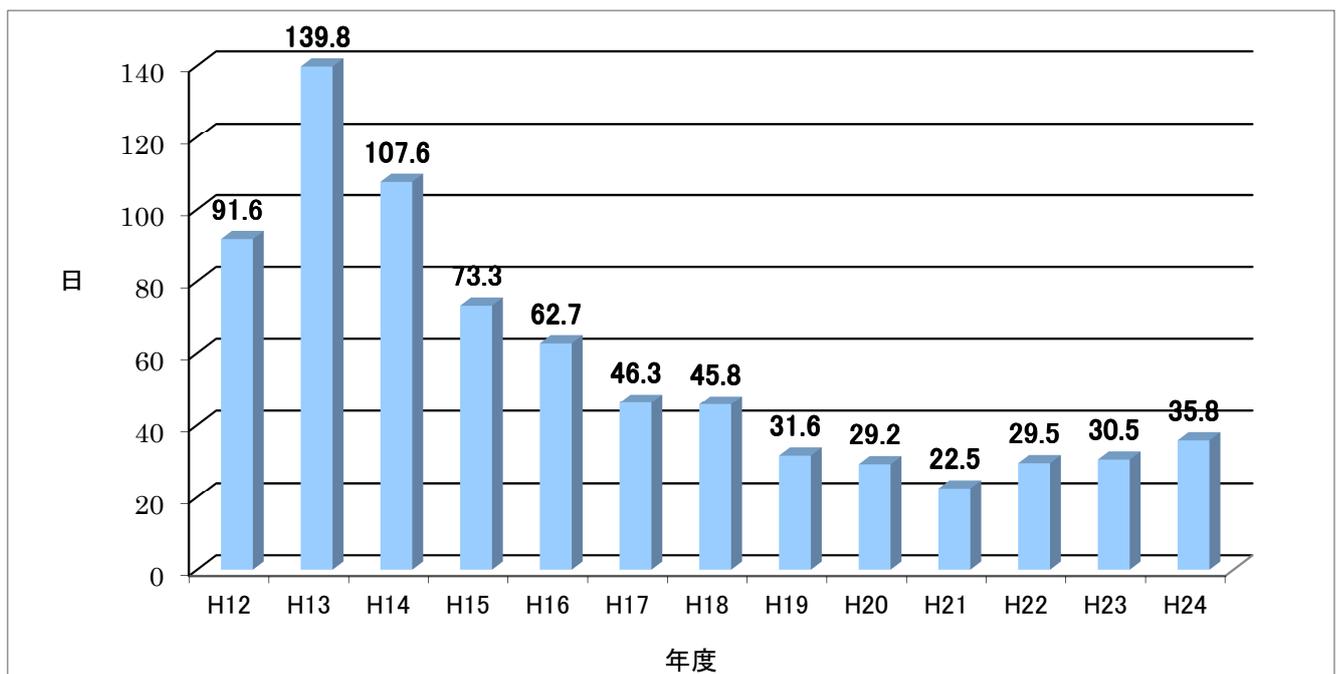


### 【レスパイト入院数の推移(平成 17~24 年度)】

(単位:件)

	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
入院数	62	49	44	43	58	72	38	49

### 【平均在院日数の推移(平成 12~24 年度)】



## 【平成 24 年度 5C 病棟勉強会実施報告】

月	テーマ	講師	出席者	評価
5 月	パーキンソン体操について	西山 PT	19 名	患者さん対象に行うパーキンソン体操の DVD を見て内容を理解し、この研修以後、平日 11 時からデイルームでパーキンソン体操を実施し、継続できている。
6 月	摂食・嚥下障害について	松田 ST	10 名	神経難病患者は摂食・嚥下の問題を抱えており、日々の食事介助や家族指導に研修内容を活かしている。
7 月	在宅生活における社会資源の活用方法、転院について知っておくべき知識	近藤 MSW	13 名	5C では退院調整を必要とする患者が多い。介護保険や、転院・施設入所に関する基本的な知識を学び、入院時から基本知識をもとに退院調整に関わっている。
9 月	半固形栄養食・トロミ流動食製品	テルモ KK	8 名	固形栄養食は基本手作りされているが、調理不可能な時利用できる、固形栄養食の製品について理解を深めることができた。在宅療養者へこのような便利な製品があることを看護師からも情報提供できる。
11 月	5C 病棟でよく使う薬剤の取り扱いと副作用について	芝田薬剤師	7 名	神経難病患者によく使われる薬の取り扱いや粉碎時の注意点について学び、服薬介助に活かしている。
12 月	人工呼吸器について	吉村 ME	8 名	よく使うトリロジーやバイパップについてアラーム発生時の対応や患者事例から学び、人工呼吸器患者の看護に活かしている。
1 月	イグザレルトについて	バイエル薬品 KK	5 名	イグザレルトに変更する患者がいたため薬の知識を得る目的で実施し、手術直前まで服用できることが分かり、その後の服薬介助に活かしている。

【外来患者数推移】

(単位:人)

	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
ストーマ	53	108	132	116	147	249
褥瘡	9	13	16	29	54	42
創傷	1	20	16	9	6	14
失禁	1	1	2	4	0	4
その他	0	2	10	13	17	6
合計	64	144	176	171	224	315
診療報酬算定(点)	8,600	24,520	24,490	24,520	27,040	43,130

【ストーマ内訳(延べ患者数)】

(単位:人)

イレオストミー	ウロストミー	コロストミー	ダブルストーマ	その他	合計
52	17	167	11	2	249

【入院】

＜平成 24 年度ストーマサイトマーキング件数＞

ストーマ造設術:消化器外科+泌尿器科=43 件

マーキング率:予定手術 100%, 緊急手術 30.4%

(単位:人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2	4	2	4	3	5	1	0	1	1	1	2	26

【学会発表】

「化学療法中に仙骨部およびストーマ等に潰瘍を多発した 1 例」

第 21 回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

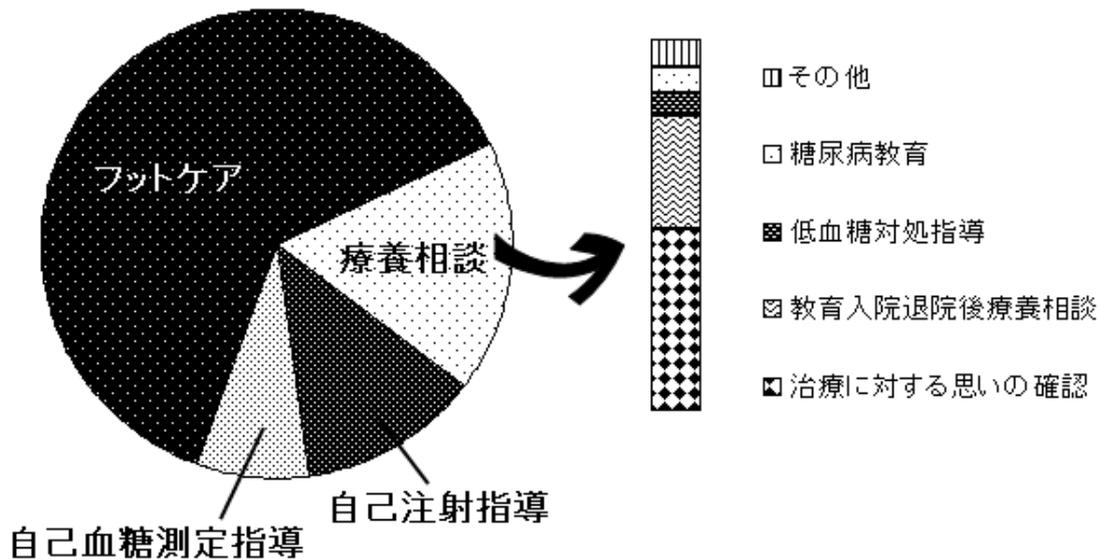
糖尿病療養相談外来(旧糖尿病看護専門外来)

【平成 24 年度 糖尿病療養相談外来利用者数】

(単位:人)

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
フットケア	45	39	35	51	41	41	46	39	33	39	33	42	484
療養相談	9	14	12	25	17	7	6	11	9	9	7	8	134
自己注射指導	13	13	10	13	5	3	4	9	2	7	11	7	97
自己血糖測定指導	12	8	6	10	1	1	3	8	2	5	3	2	61
利用者数	73	62	58	73	61	50	58	58	43	59	52	54	701
合計件数	79	74	63	99	64	52	59	67	46	60	54	59	776

【平成 24 年度 療養相談内訳】



【平成 24 年度 診療報酬算定】

(単位:件)

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在宅療養指導料 (算定170点/件)	10	10	13	19	9	7	6	11	5	11	11	8	120
糖尿病合併症管理料 (算定170点/件)	43	39	33	43	36	33	46	39	29	36	33	40	450
算定なし	20	13	12	11	16	10	6	8	9	12	8	6	131

●在宅療養指導料(170点/件)×120件=20,400点

●糖尿病合併症管理料(170点/件)×450件=76,500点

合計:20,400点+76,500点=96,900点 → 969,000円

### 【概要】

#### ＜医療安全管理のための体制＞

医療の安全確保と医療事故の発生防止を推進するため、病院に医療の質・安全管理室を設置するとともに、院内に医療安全管理対策委員会、リスクマネジメント部会、及び専門調査委員会を設置する。また、職員の医療の安全意識を高めるため教育・研修及び啓発を行う。

#### 1) 組織

##### (1) 医療の質・安全管理室の設置

- ア 安全で清潔な医療を推進し、医療事故を未然に防止するとともに、発生した事故に関する事故原因の分析、調査を行い、再発防止策を検討、協議するなど病院のリスクマネジメントを確保するため、院長の下に医療の質・安全管理室を設置する。医療の質・安全管理室は以下の委員会等とともに医療の安全推進に努めるとともに、職員への教育や研修、職場巡視や安全医療を推進するための啓発を行う。
- イ 医療の質・安全管理室に医療安全管理者を置き、医療の質・安全管理室長の職にあるものを医療安全管理責任者とする。
- ウ 医療安全管理者の職務及び具体的な活動内容は、医療の質・安全管理室業務マニュアルに定めるとおりとする。

##### (2) 医療安全関係の委員会の設置

委員会は医療の安全を確保し、並びに院内感染対策及び褥創対策を講ずることにより、安全かつ清潔で良質な医療を提供することを目的とする。

委員会の目的を達成するため、医療安全管理対策委員会、感染対策委員会、褥瘡対策委員会、医療機器安全管理委員会、透析機器安全管理委員会、防火災害対策委員会、放射線安全管理委員会、医療ガス安全管理委員会を設置し、必要に応じ又は定期的に会議を開催する。

##### ① 医療安全管理対策委員会は、次のことを分掌する。

- ア 医療の安全確保と医療事故の防止のための指針、マニュアルの作成に関すること。
- イ 医療事故に関する調査及び評価に関すること。
- ウ 医療の安全確保及び医療事故の防止のための巡視、点検、教育及び啓発に関すること。
- エ 緊急事態発生時の対策等に関すること。
- オ リスクマネジメント会議部会に関すること。
- カ 医療事故防止のための器材等の整備、業務改善等に関すること。
- キ その他医療の安全対策に関すること。

##### ② 感染対策委員会は、次のことを分掌する。

- ア 院内感染の防止のためのガイドライン、マニュアルの作成に関すること。
- イ 疫学情報の把握及び評価に関すること。
- ウ 院内感染防止のための巡視、点検、教育、研究及び啓発に関すること。
- エ 院内感染防止のための器材等の整備、業務改善等に関すること。
- オ 感染対策チーム (ICT) に関すること。
- カ 感染症病棟の運営に関すること。
- キ 結核病棟の運営に関すること。
- ク その他感染対策に関すること。

- ③ 褥瘡対策委員会は、次のことを分掌する。
- ア 褥瘡予防及び褥瘡治療・看護に関するマニュアルの作成に関すること。
  - イ 褥瘡予防及び褥瘡の診療計画に関すること。
  - ウ 褥瘡対策チームに関すること。
  - エ 褥瘡及び褥瘡の治療・看護のための教育、研究及び啓発に関すること。
- ④ 医療機器安全管理委員会は、次のことを分掌する。
- ア 職員に対する医療機器の安全使用のための研修の実施に関すること。
  - イ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の適切な実施に関すること。
  - ウ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施に関すること。
- ⑤ 透析機器安全管理委員会は、次のことを分掌する。
- ア 透析液清浄化ガイドラインに関すること。
  - イ 透析液水質管理計画および検査結果に関すること。
  - ウ 透析装置点検計画に関すること。
- ⑥ 防火災害対策委員会は、次のことを分掌する。
- ア 施設防災、環境整備に関すること。
  - イ 施設の安全管理に関すること。
  - ウ 消防訓練に関すること。
- ⑦ 放射線安全管理委員会は、次のことを分掌する。
- ア 放射線障害予防規程の作成および改廃に関すること。
  - イ 必要な注意事項等、放射線障害の発生防止に関すること。
  - ウ 放射線発生装置、エックス線装置および放射性医薬品等の取扱い等に関する事項。
- ⑧ 医療ガス安全管理委員会は、次のことを分掌する。
- ア 医療ガス設備の点検及び安全管理に関すること。

(3) リスクマネジメント部会の設置

医療事故防止対策のための具体策を検討、協議し、安全で清潔・良質な医療提供を進めるため、リスクマネジメント部会を設置するとともに、各所属にリスクマネージャーを配置する。

- ① 部会は、次に掲げる事項を担当する。
- ア 業務マニュアルの点検、評価に関すること。
  - イ 医療事故防止の予防対策及び業務の改善策に関すること。
  - ウ 医療事故発生後の対応策に関すること。
- ② リスクマネージャーは、次に掲げる事項を担当する。
- ア 日常における業務マニュアルの遵守の確認に関すること。
  - イ 医療事故の予防についての相談、業務援助及び指導に関すること。
  - ウ 医療事故の予防に関する情報の収集、把握に関すること。
  - エ 他部門のリスクマネージャーとの連絡調整に関すること。
  - オ その他日常業務における医療事故の防止に関すること。

## 【平成 24 年度の主な活動内容】

### <医療安全研修(医療安全管理対策委員会、医療の質・安全管理室主催)>

#### ・ 全職員対象研修

対象	テーマ	参加者(人)
全 職 員	3T MRI の安全性について	408
	身の安全を守る	44
	医療安全研修 - 医療安全推進のために -	104
	医療安全研修 - 患者トラブルを解決する技術 -	83

#### ・ 対象者限定研修

対象	テーマ	参加者(人)
研修医・看護師	採血時の注意	118
医師・看護師・医療技術職	深部静脈血栓塞栓予防のためのフットポンプ及び弾性ストッキングの適応使用	74
新採用看護師・看護補助者・清掃業者・防災センター・中央監視センター	放射線被ばくと CT/MRI の安全性教育	54 (予約制)
研修医・看護師	採血時の注意	32
8 B 病棟	転倒・転落セミナー	13

### <医療の質・安全管理室ニュース「安全速報」の発行>

月日	号数	内容
4月12日	安全速報 53号	検体専用ケース使用の周知
4月13日	安全速報 54号	輸血（自己血）の廃棄・FFP 冷蔵庫保存による廃棄
6月12日	安全速報 55号	使用済み針等の取り扱い注意
6月15日	安全速報 56号	トイレの鍵を外から開ける方法の周知
7月3日	安全速報 57号	採血スピッツの注意
8月9日	安全速報 58号	アレビアチンでの CV ルートの閉塞
8月20日	安全速報 59号	人工呼吸装着時、パルスオキシメーターでモニタリングする事の周知
8月22日	安全速報 60号	点滴ラインの未接続、点滴漏れの影響など
10月19日	安全速報 61号	転倒による歯牙欠損 - 患者から離れる時の安全確保について -
10月19日	安全速報 62号	吸引びんが顔面に！！ - 患者の頭元で作業するときの危険性について注意喚起 -
10月19日	安全速報 63号	輸血関係の共有すべき情報 - AB 型 Rh (-) -
11月21日	安全速報 64号	患者間違いと対応の遅れ - 対応のポイント -
12月21日	安全速報 65号	院内の紹介 - 当院手術室のタイムアウト -
2月25日	安全速報 66号	ME 機器の特徴及び使用方法についての情報（ポンプ）
3月4日	安全速報 67号	MRI 装置への酸素ボンベの吸着事故

## 【インシデント報告件数】

### <月別報告件数>

(単位:件)

H24年度	インシデントシステム		詳細報告・その他報告書		合計
	0~2	3以上	3以上	なし	
4月	108	17			125
5月	119	11			130
6月	115	16		1	132
7月	125	14			139
8月	138	13		1	152
9月	120	31	1		152
10月	95	16	1		112
11月	113	14		2	129
12月	102	34		3	139
1月	95	25			120
2月	106	29		1	136
3月	127	34			161
合計	1,363	254	2	8	1,627

※毎月の委員会報告件数と誤差がある等、数値は必ずしも一致しない場合がある(集計後に報告が入力されるため)

### <職種別報告件数>

(単位:件)

当事者	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	レベル3b	なし	合計
医師	17	12	2	7	8	4	50
看護師	89	428	19	26	7	1	570
助産師	2	8	1				11
薬剤師	16	6					22
臨床検査技師	16	14					30
理学療法士		6		1	1		8
作業療法士		1					1
放射線技師	6	15		1	4		26
臨床工学技士	9	10					19
医事事務職	6	4					10
一般事務職	1						1
地域事務職	1						1
SPD		1					1
栄養士	1	2					3
調理員	1	4					5
補助員	2	3					5
その他	6	1					7
空白	59	569	25	195	6	3	857
(この内、患者本人による事象)	(41)	(516)	(24)	(180)	(5)	(0)	(766)
合計	232	1,084	47	230	26	8	1,627

※空白の内、患者本人による事象…転倒転落・チューブ類自己抜去等 766 件を含む

※レベル 4、5 は該当なし

<臨床検査部(検体)報告件数>

・月別報告件数

H24年度	レベル0~2
4月	29
5月	39
6月	46
7月	50
8月	36
9月	46
10月	41
11月	52
12月	60
1月	32
2月	53
3月	35
合計	519

※レベル3、4、5は該当なし

・職種別報告件数

当事者	レベル0	レベル1	レベル2	合計
医師	6	3		9
看護師	78	428	1	507
事務職	1			1
臨床検査技師	1			1
空白	1			1
合計	87	431	1	519

※レベル3、4、5は該当なし

◆インシデント・アクシデントの定義 —

影響レベル	内 容
0	間違ったことは発生したが、それが患者には実施されなかった場合
1	当該行為等が患者に実施されたが、結果的には被害がなかった場合
2	事故により患者のバイタルサインに変化が生じたり、検査の必要性が生じた場合
3a	事故により新たな治療や処置が必要となった場合
3b	事故により、濃厚な治療や処置(予定外の処置や治療、入院、入院期間延長など)が必要となった場合
4	事故による後遺症が一生続く場合
5	事故が原因となって死亡した場合

## 【褥瘡対策】

### <褥瘡発生状況推移>

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
平均褥瘡有病率(%)	4.57	3.42	2.91	3.73	2.99
平均褥瘡推定発生率(%)	3.31	2.23	1.81	2.29	1.75
平均褥瘡発生率(%)	0.75	0.79	0.60	0.73	0.59
平均院内発生数(人/月)	8.92	9.03	7.54	8.50	6.58
平均持ち込み患者数(人/月)	10.25	10.75	9.00	12.80	12.25

### <平成24年度褥瘡発生状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均褥瘡有病率(%)	3.57	2.56	4.50	3.68	2.43	2.28	2.54	2.34	2.85	2.83	3.33	3.00
平均褥瘡推定発生率(%)	1.84	1.33	2.76	2.65	0.91	1.29	1.40	1.12	2.32	1.31	2.21	1.85
実褥瘡発生率(%)	0.64	0.45	0.95	0.80	0.24	0.64	0.60	0.84	0.44	0.19	0.47	0.96
院内発生数(人/月)	7	4	11	7	3	7	7	10	5	2	5	11
持ち込み患者数(人/月)	15	13	16	11	17	9	9	11	14	11	10	12
褥瘡ハイリスク患者算定数(人)	197	209	195	191	191	157	193	194	161	149	148	126
褥瘡回診回数	3	4	4	4	5	3	4	4	3	4	4	3
褥瘡回診延べ患者数	9	12	12	15	19	11	16	14	10	14	14	11

※1 回当たりの平均褥瘡回診患者数=3.48人

※平成24年度 d1 を含めない実褥瘡実発生率=0.48%

### <平成24年度報告時深達度別褥瘡患者数>

	d1	d2	D3	D4	D5	U	DTI
院内発生	13	60	0	2	0	3	0
院外発生	31	87	9	8	3	10	0

## 一 定義 一

### ・ 褥瘡有病率(prevalence rate of pressure ulcers)

**調査日に褥瘡を保有する患者数／調査日の施設入院患者数×100(%)**

ある集団における、ある一時点での特定の疾病や病態を有する人の割合。分子はある一時点での有病者の数、分母がその時点での集団全体の人数である。これは時点有病率とも呼ばれ、ある集団を、ある期間観察した時の有病率である期間有病率と区別される場合もある。

注1 調査日の施設入院患者数:調査日の入退院または入退院予定者は含めない。

注2 1名患者が褥瘡を複数部位有していても、患者数は1名として数える。

### ・ 褥瘡推定発生率(presumed incidence rate of pressure ulcers)

**(調査日に褥瘡を保有する患者数－入院時すでに褥瘡保有が記録されていた**

**患者数)／調査日の施設入院患者数×100(%)**

注1 調査日の施設入院患者数:調査日の入退院または入退院予定者は含めない。

注2 1名患者が褥瘡を複数部位有していても、患者数は1名として数える。

注3 入院時すでに褥瘡を保有していた患者であっても、新たに入院中に褥瘡が発生した場合は、院内褥瘡発生者として取り扱い、褥瘡推定発生率を算出する。

【診療科別開放型病床利用数・紹介入院患者数】

(単位:人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
内科	40	31	40	11	9	9	2	10	9
	242	228	257	232	181	195	236	225	238
消化器内科	37	26	14	22	4	7	0	2	6
	364	313	357	415	291	329	298	331	317
呼吸器内科	21	33	1	2	3	2	0	0	2
	114	108	4	133	74	94	84	38	45
小児科	21	12	11	7	0	2	0	0	0
	150	170	214	203	129	121	99	147	120
外科	36	4	3	7	4	2	0	0	2
	164	120	137	100	109	146	156	161	133
整形外科	19	5	0	3	4	2	4	0	0
	134	139	143	125	97	93	118	113	85
産婦人科	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	327	268	236	222	79	73	111	93	97
眼科	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	180	209	178	98	37	73	74	67	55
耳鼻咽喉科	1	3	2	2	0	0	0	0	0
	71	88	84	63	34	48	59	44	44
泌尿器科	2	1	1	0	0	1	8	0	0
	20	38	27	33	62	90	102	115	85
皮膚科	0	4	16	2	0	0	0	0	0
	19	35	19	16	21	14	24	21	24
歯科口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	284	322	310	309	353	403	388	465	417
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	12	8	8	2	1	2	2	0	2
	140	227	154	117	112	186	194	178	116
心臓血管外科	2	6	6	0	12	8	5	17	8
	61	30	28	43	104	88	92	79	57
呼吸器外科			0	2	3	0	0	0	0
			41	67	30	35	38	42	25
神経内科	17	32	21	11	1	0	0	0	1
	152	163	140	107	45	52	49	56	40
循環器内科	18	8	7	0	3	1	0	1	1
	209	185	206	162	94	70	103	114	91
精神・心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	12	9	6	2	3	3	4	2
緩和ケア科				0	0	2	0	0	0
				31	17	20	19	8	70
合計	226	173	131	71	45	38	21	30	31
	2,641	2,655	2,544	2,482	1,871	2,133	2,247	2,301	2,061

※上段開放型病床利用者数

### 【平成 24 年度 特殊検査依頼予約件数】

(単位:件)

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胸部X線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
上部消化管造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎盂膀胱造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上部消化管内視鏡	21	15	14	13	7	18	24	21	19	19	23	25	219
大腸ファイバー	6	4	4	7	13	5	11	11	13	17	8	9	108
腹部超音波検査	3	3	2	1	0	2	2	2	2	3	1	3	24
心臓超音波検査	5	0	2	2	3	2	2	0	1	1	2	2	22
MRI	19	21	38	32	26	30	39	38	27	26	38	23	357
CTスキャン	33	28	29	39	30	33	45	33	32	31	28	38	399
シンチグラム	4	4	0	0	1	0	0	1	1	1	2	3	17
甲状腺シンチグラム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レノグラム	1	3	1	0	1	1	4	1	0	1	1	3	17
その他	8	2	3	2	2	1	4	3	1	3	1	1	31
合計	100	80	93	96	83	92	131	110	96	102	104	108	1,195

平成23年度合計	86	85	93	83	86	111	91	104	94	93	94	81	1,101
増減	14	-5	0	13	-3	-19	40	6	2	9	10	27	94

### 【平成 24 年度 一般患者診察依頼件数】

(単位:件)

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	14	35	19	21	28	21	26	30	13	19	26	18	270
消化器内科	26	36	32	37	37	34	47	55	43	55	42	53	497
呼吸器内科	14	10	10	11	8	12	18	20	14	6	8	17	148
小児科	16	21	22	12	13	19	29	25	17	5	13	14	206
外科	14	14	10	11	7	15	10	7	11	20	8	17	144
整形外科	45	27	31	25	19	23	41	31	15	31	29	33	350
産婦人科	13	25	20	17	14	18	17	15	19	26	23	17	224
眼科	10	16	16	10	6	11	14	6	9	10	5	12	125
耳鼻咽喉科	18	20	23	22	14	15	24	16	13	23	17	15	220
泌尿器科	17	15	16	12	12	12	9	13	14	15	16	5	156
皮膚科	8	15	18	14	12	10	10	5	12	11	8	12	135
歯科口腔外科	39	54	55	65	51	47	56	38	48	69	52	63	637
脳神経外科	43	47	54	60	36	33	41	37	26	20	22	23	442
心臓血管外科	11	4	8	12	14	8	6	5	6	9	7	6	96
呼吸器外科	4	1	2	4	3	2	1	3	3	2	1	0	26
神経内科	24	19	29	17	30	23	26	18	12	27	15	16	256
循環器内科	22	23	28	14	18	15	28	19	19	19	13	23	241
精神・心療内科	5	3	3	2	2	3	1	3	2	2	3	1	30
緩和ケア科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	343	385	396	366	325	321	404	346	296	369	308	345	4,204

平成23年度合計	316	330	389	298	343	351	363	345	337	337	335	339	4,083
増減	27	55	7	68	-18	-30	41	1	-41	32	-27	6	121

### 【開放型病床利用状況】

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	増減 (H24-H23)
利用入院患者数	35	25	29	31	2
(月平均)	( 2.9 )	( 2.1 )	( 2.4 )	( 2.6 )	( 0.2 )
利用入院患者延人員	506	454	518	537	19
(月平均)	( 42.2 )	( 37.8 )	( 43.2 )	( 44.8 )	( 1.6 )
平均在院日数	14.4	18.2	17.8	17.3	-0.5
開放型病床利用率	2.8%	2.5%	2.8%	2.9%	0.1%
利用登録医師数	18	11	13	11	-2
(月平均)	( 1.5 )	( 0.9 )	( 1.1 )	( 0.9 )	( -0.2 )
共同指導回数	46	40	48	49	1
(月平均)	( 3.8 )	( 3.3 )	( 4.0 )	( 4.1 )	( 0.1 )

### 【転院患者内訳】

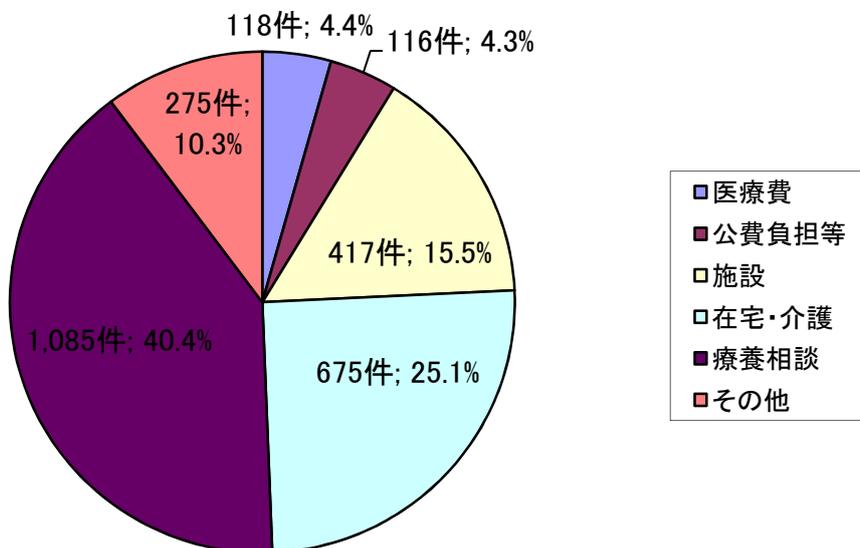
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	増減 (H24-H23)
人 数		615	807	1,179	1,263	84
平均年齢		78	76	77	78	1
平均在院期間		53	49	53	43	-10
平均依頼期間		33	37	36	34	-2
転 帰 先	病 院	209	202	285	206	-79
	施 設	56	85	132	171	39
	グループホーム	6	2	13	16	3
	在 宅	277	431	641	716	75
	死 亡	62	85	103	136	33

# 【平成 24 年度 相談件数】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医療費	2	3	6	2	3	4	3	4	7	4	7	6	51
特定疾患	0	1	0	2	1	1	2	1	0	2	2	0	12
高齢福祉	1	0	1	2	1	2	2	0	1	1	1	2	14
生活福祉	0	2	1	3	4	1	4	5	1	4	2	3	30
障害福祉	1	2	4	4	2	3	9	9	2	7	3	2	48
児童福祉	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	6
介護保険	23	31	24	30	31	21	22	28	25	33	19	26	313
その他の施策	3	3	0	1	0	2	2	0	0	3	2	1	17
施策外サービス	0	2	0	2	4	2	0	1	4	0	0	0	15
転院調整	27	23	33	43	37	33	43	32	42	40	28	36	417
在宅調整	22	23	17	30	22	24	43	26	15	26	19	22	289
受診相談	9	4	11	4	10	7	5	9	7	5	9	5	85
家族に関する相談	3	1	1	2	4	2	0	3	2	1	3	0	22
情報仲介	51	53	35	51	52	36	69	59	64	46	44	29	589
入院生活	3	0	3	5	4	2	6	7	2	4	4	3	43
往診医・訪問看護	2	4	3	5	3	4	3	5	3	3	4	5	44
介護タクシー予約	10	11	13	13	14	12	11	22	20	20	12	10	168
その他の相談	8	7	6	13	5	9	6	14	8	5	4	5	90
拡大カンファレンス	0	1	1	0	0	1	1	3	3	1	0	1	12
カンファレンス	36	30	20	40	28	21	38	31	24	21	19	26	334
高額医療費	6	5	3	5	10	6	4	3	9	5	5	6	67
精神通院	4	1	2	2	2	1	0	3	3	1	0	1	20
合計	211	208	184	259	238	195	273	266	242	233	187	190	2,686

相談内容に占める割合



【平成 24 年度 救急受入件数(診療科別・搬入経路別)】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内科	297	262	184	286	236	207	233	296	308	573	493	370	3,745	312.1
消化器内科	162	173	138	178	186	171	161	214	277	306	196	189	2,351	195.9
呼吸器内科	24	26	29	26	23	21	20	23	19	28	19	35	293	24.4
呼吸器外科	3	5	5	2	3	3	4	3	13	5	6	5	57	4.8
神経内科	68	64	37	58	54	72	58	61	57	69	62	78	738	61.5
循環器内科	41	49	38	56	49	37	43	33	52	37	45	50	530	44.2
小児科	251	241	182	197	150	166	189	208	273	255	289	308	2,709	225.8
外科	37	43	54	51	37	47	44	28	42	46	30	31	490	40.8
整形外科	185	196	177	167	197	201	197	183	211	204	137	184	2,239	186.6
心臓血管外科	5	6	7	11	4	4	5	10	8	9	9	4	82	6.8
脳神経外科	135	158	120	138	126	156	161	165	154	135	116	161	1,725	143.8
泌尿器科	33	54	46	47	47	45	55	48	66	48	52	46	587	48.9
産婦人科	57	48	43	50	54	48	48	45	43	69	36	51	592	49.3
眼科	18	32	18	20	24	30	16	12	15	17	9	42	253	21.1
耳鼻咽喉科	101	91	71	96	73	106	80	114	110	124	78	122	1,166	97.2
皮膚科	109	120	117	165	145	123	119	95	121	112	80	107	1,413	117.8
精神・心療内科	30	30	27	21	43	36	23	30	27	27	30	34	358	29.8
歯科・口腔外科	4	8	10	2	5	1	6	7	10	1	5	4	63	5.3
緩和ケア科	1	-	-	1	1	2	4	-	-	2	1	1	13	1.1
合計 (キャンセル含まず)	1,561	1,606	1,303	1,572	1,457	1,476	1,466	1,575	1,806	2,067	1,693	1,822	19,404	1,617.0
キャンセル	18	12	22	12	23	14	14	14	22	18	17	18	204	17.0
合計 (キャンセル含む)	1,579	1,618	1,325	1,584	1,480	1,490	1,480	1,589	1,828	2,085	1,710	1,840	19,608	1,634.0

	4月	5月	6月	7月	8月*	9月	10月*	11月	12月	1月	2月*	3月	合計	平均
交通外傷	48	62	39	49	61	59	67	70	72	44	40	57	668	55.7
紹介	67	58	54	54	48	46	47	59	61	61	61	63	679	56.6
2科受診	11	7	9	12	15	8	8	20	14	15	14	9	142	11.8

\*8月・10月・2月:3科受診あり

搬入経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
一般	1,303	1,312	1,077	1,259	1,111	1,171	1,167	1,273	1,478	1,763	1,435	1,520	15,869	1,322.4
救急	264	298	239	313	349	311	304	296	337	306	261	310	3,588	299.0
へ)	1	1	-	-	3	-	-	-	-	1	-	1	7	0.6
合計	1,568	1,611	1,316	1,572	1,463	1,482	1,471	1,569	1,815	2,070	1,696	1,831	19,464	1,622.0

## 【平成 24 年度 市民病院大学開催実績】

開催日	テーマ	講師
7月12日	「AED」のはなし	吉田修(看護局 3B 病棟)
7月24日	「麻酔(ますい)」のはなし	橋口光子(麻酔科 医長)
8月21日	「子宮がん・卵巣がん」のはなし	鈴木彩子(産婦人科 診療部長)
9月6日	「内視鏡(カメラ)」のはなし	若林直樹(消化器内科 診療部長)
9月25日	「インフルエンザ」のはなし	中嶋敏宏(小児科 診療部長)
10月10日	「白内障」のはなし	尾藤洋子(眼科 診療部長)
10月25日	「放射線被曝」のはなし	青木悦雄(副院長・放射線科 診療部長)

【利用者数の推移(平成 21～24 年度)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H21	76	76	81	82	80	82	81	76	79	79	82	80	954
H22	79	75	79	77	80	74	73	74	70	70	66	71	888
H23	68	74	77	77	75	75	78	76	77	75	77	78	907
H24	76	80	75	76	74	76	78	75	76	77	79	78	920

【訪問回数の推移(平成 21～24 年度)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H21	740	631	805	820	737	762	798	731	707	721	753	878	9,083
H22	774	687	842	755	850	740	718	678	580	580	566	691	8,461
H23	644	622	810	800	764	793	790	844	775	779	932	943	9,496
H24	817	848	815	772	967	818	866	764	724	714	650	709	9,464

【休日定期訪問期間\*の対象と訪問期間の推移(平成 21～24 年度)】

	1～2 週間	2～3 週間	3～4 週間	4～8 週間	3ヶ月以上	全対象延べ人数
H21	17	2	0	2	1	22
H22	6	1	1	0	1	9
H23	12	0	2	3	5	22
H24	10	1	1	2	9	23

※休日定期訪問期間：土・日の訪問(年末年始・祭日は除外)

平成 24 年度の主な訪問目的および理由

- ・ ターミナル
- ・ 褥創処置
- ・ 薬剤管理
- ・ 吸引・排痰支援、胃瘻注入
- ・ 排便コントロール
- ・ 点滴
- ・ インスリン・血糖管理
- ・ 介助者支援・冠婚葬祭

【平成 24 年度 緊急連絡対応件数】

相談内容	訪問	17:~	21:~	00:~	03:~	06:~	休日	合計
バルンカテーテル・排尿 に関すること	有	8	1				2	11
	無	1	1				1	3
バイタルサインに関すること 状態の変化	有	12	1	1		2	13	29
	無	8	2	3			3	16
排泄に関すること	有	2	2				3	7
	無	1					5	6
痛みに関すること	有					1	2	3
	無	3					2	5
胃ろう・経管栄養 に関すること	有						1	1
	無	1					2	3
うつ・不安 介助者の不安	有							0
	無	1				1	5	7
呼吸器・気管カニューレ 呼吸に関すること	有	3	2			3	4	12
	無	2	1				2	5
IVH、点滴に関すること	有	2	1				1	4
	無						2	2
薬・インスリンに関すること	有						1	1
	無						13	13
ストーマの漏れ 腸ろうの閉塞	有	1	2				2	5
	無							0
ターミナル状態の悪化	有	3	3		1	1	1	9
	無				1		1	2
転倒・その他	有			2	1	2	2	7
	無						4	4
合計	有	31	12	3	2	9	32	89
	無	17	4	3	1	1	40	66
	合計	48	16	6	3	10	72	155

バイタルサインに関すること：発熱や呼吸の変調、血圧の変動等（45件 29.0%）  
 呼吸器・気管カニューレ、吸引に関すること：呼痰困難2件、血液混入等（17件 11.0%）  
 排尿・バルンカテーテルに関すること：出血、バルン閉塞、抜去（14件 9.0%）  
 薬・インスリンに関すること（14件 9.0%）  
 排便に関すること：排便コントロール、腹部膨満等、下痢による下剤の評価（13件 8.4%）  
 ターミナル、状態の悪化、看取り支援（11件 7.1%）  
 うつ、不安、介護者の不安：電話での対応で精神的支援（7件 4.5%）  
 痛みに関すること（8件 5.2%）  
 IVHルートトラブル、点滴漏れ（6件 3.9%）  
 胃瘻・経管栄養に関すること：PEGの閉塞、ガス抜き時の出血、逆流等（4件 2.6%）  
 ストーマの漏れ、腸瘻閉塞（5件 3.2%）  
 転倒、その他（11件 7.1%）  
 緊急訪問件数：89件、電話での指導・対応：66件、休日対応：155件中72件（46.5%）

【平成 24 年度 利用者の傾向と分析】

保険別			
分類	医療保険	介護保険	合計
人数	53	67	120
比率	44.2	55.8	100.0

医療機関別				
分類	病院	医院	診療所	合計
人数(人)	43	66	11	120
比率(%)	35.8	55.0	9.2	100.0

年齢別											
分類	0~10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	合計
人数(人)	1	0	1	0	8	10	42	33	23	2	120
比率%	0.8	0.0	0.8	0.0	6.7	8.3	35.0	27.5	19.2	1.7	100.0

性別			
分類	男性	女性	合計
人数(人)	48	72	120
比率(%)	40.0	60.0	100.0

要介護度								
分類	要支援	1	2	3	4	5	その他	合計
人数(人)	6	12	15	29	23	28	7	120
比率(%)	5.0	10.0	12.5	24.2	19.2	23.3	5.8	100.0

認知度							
分類	I	II	III	IV	M	無	合計
人数(人)	22	22	18	12	5	41	120
比率(%)	18.3	18.3	15.0	10.0	4.2	34.2	100.0

寝たきり度					
分類	A	B	C	J	合計
人数(人)	28	51	31	10	120
比率(%)	23.3	42.5	25.8	8.4	100.0

介護者							
分類	配偶者	嫁	子	親	無	孫姪婿	合計
人数(人)	55	17	26	2	17	3	120
比率(%)	45.7	14.2	21.7	1.7	14.2	2.5	100.0

疾患別											
分類	神経難病	脳血管障害	呼吸器疾患	認知症	糖尿病	循環器疾患	癌	骨関節疾患	腎泌尿器疾患	褥瘡、鬱、脊損、その他	合計
人数(人)	35	20	9	6	9	5	14	6	5	11	120
比率(%)	29.1	16.6	7.5	5.0	7.5	4.2	11.7	5.0	4.2	9.2	100.0

医療的処置、管理内容												
分類	胃瘻	バルン留置	気管切開	吸引処置	在宅酸素	DIV・IVH	呼吸器	スーパ	褥瘡	インスリン血糖測定	排便コントロール	合計
人数(人)	19	8	7	10	11	5	5	6	16	10	48	145
比率(%)	13.1	5.5	4.8	6.9	7.6	3.5	3.5	4.1	11.0	6.9	33.1	100.0

他 薬、透析、嚥下、栄養、疼痛管理等

主な訪問目的						
分類	管理指導	リハビリ	セルフケア支援	医療的処置	ターミナル	合計
人数(人)	86	41	41	92	11	271
比率(%)	31.7	15.1	15.1	33.9	4.2	100.0

転帰					
分類	入院	在宅死	入所	訪問終了	合計
人数(人)	30	4	1	7	42
比率(%)	71.4	9.5	2.4	16.7	100.0

研修医・専攻医（後期研修医）を中心に、すべての医療関係者個々の臨床学習を支援しています。実り多い研修には、生の医療ニーズに触れニーズを満たすために必要な力を個々が My goal に設定して取り組むことが肝要です。臨床研修センターは最小限の指導と最大限の支援体制を目指しています。

臨床研修センターロゴマーク



武士（もののふ）の  
やばせの舟は早けれ  
ど

### 【初期臨床研修支援事業】

医科初期臨床研修においては、マッチング採用（定員フルマッチ）の当院研修希望者に加え、京都府立医科大学附属病院たすきがけ研修医のほか、新たに京都大学医学部附属病院からのたすきがけ研修者の参加を得ることができた（下記※）。

2年次研修医は全員初期研修を修了し、各々が希望する後期研修へと進んだが、半数が引き続き当院において後期研修を行っている。

※平成24年度研修者

・2年次			
大津市民病院採用	4名	}	計13名
京都府立医科大学たすきがけ	1名		
・1年次			
大津市民病院採用	4名		
京都府立医科大学たすきがけ	3名		
京都大学医学部附属病院たすきがけ	1名		

なお、これまでは京都府立医科大学附属病院の研修協力病院として大学からのたすきがけ研修医を受け入れるのみであったが、平成24年度研修プログラムより、京都府立医科大学附属病院を当院の研修協力病院に加え、当院研修医が選択期間に大学病院で履修することを可能とした。

次に、平成24年度の主な事業を報告する。

### 【平成24年度の主な事業】

#### ＜院内講演会開催（平成24年6月21日（木））＞

平成24年度第1回研修管理委員会開催後、全職員及び大津市医師会会員対象に開催。

京都府立医科大学総合医療・医学教育学教室の山脇正永教授に「いかに若手医師を育てるか」をテーマに大学教育の流れと卒後研修の役割について講演いただいた。

講演後、専攻医・研修医を含む院内若手医師を対象に Advanced OSCE による頭痛患者の診察・診断を行っていただいた。

今後の指導に役立つ有意義な内容であった。参加者は61名。

## <研修医リフレッシュ研修(平成 24 年 9 月 21 日(金)～22 日(土)宿泊研修)>

例年、意見交換会で出される研修医からの研修要望を次年度の研修プログラムに反映させている。平成 24 年度研修者からは、1 年次必修の内科系 6 か月を連続で履修するのではなく、外科系を間に入れながら研修したいとの要望が出され、次年度より柔軟に運用することとした。  
その他、日直手当の増額、研修医室の端末増設についても要望を受けて対応している。研修内容・研修体制については研修医から概ね高評価を受けている。

## <NPO 法人 卒後臨床研修評価機構による外部評価受審(平成 25 年 2 月 5 日(火))>

受審の結果、機構の定める基準を達成しているとの認定を受けた。  
評価の中で指摘された主な事項(下記※)について対応を進めた。

### ※主な指摘事項

- ・研修管理委員会における外部委員の出席率が低い。
- ・各科の研修プログラムを GIO、SBOs、LS、Ev の形式で記載すること。
- ・看護部門を始め、医師以外からの研修医評価が不十分である。
- ・医療面接、シミュレーター、CPC の研修を適切に組み入れること。



## <平成 24 年度滋賀県臨床研修病院合同説明会に参加(平成 25 年 3 月 16 日(土))>

本説明会は、滋賀県にゆかりのある医学生をターゲットに県内で初めて開催されたもので、県内の 12 病院が参加した。

医学生向け講演会の他、各病院のプレゼンテーション、出展ブースでの医学生との自由面談、懇親会が行われた。

当院のプレゼンテーションは城田研修医が担当し、研修医の目線でわかりやすく当院の研修の魅力を伝えていただいた。

参加学生 81 名のうち、当院のブースに 26 名がお越しくださり、うち 2 名が翌週病院見学に来られた。

## <大津市民病院研修医同窓会メーリングリストを構築>

当院研修関係者の連絡網、継続的な情報交換の場を作るため、Yahoo メーリングリストを立ち上げ、平成 16 年 4 月の新臨床研修制度開始後の研修医(たすきがけの研修医も含む)OB・OG に案内状を送付し参加を呼びかけた。

参加者には当院の研修情報を随時送信している。

## 【後期研修支援事業】

専攻医(後期研修者)・後期研修希望者・研修医・指導医・研修センター関係者が一同に会し意見交換を行うイブニングフォーラムを開催し、後期研修の実施状況報告・研修への要望などを受けた(主な内容※)。参加者は 43 名。

※第 2 回大津市民病院レジデントイブニングフォーラムの内容

- ・参加者全員で 1 人 20 秒自己紹介

- ・専攻医からの研修紹介(内科、消化器内科、脳神経外科、皮膚科、放射線科)
- ・専攻医の待遇について事務局より説明
- ・指導医からの研修紹介(内科総合研修、外科総合研修)
- ・研修に関する意見交換

## 【院内研修支援事業】

### <蘇生研修事業>

国際ガイドライン準拠の AED・BLS 研修を全職員対象に実施した。実施にあたり、職員で一定の資格を有する者(日本救急医学会 ICLS インストラクター等)をインストラクターとして登録し、全職員及び委託職員が履修した。

研修回数:20 回、受講職員数:690 名、登録インストラクター数:31 名。

インストラクターのために、白衣に装着できるオリジナルピンバッジを制作し、病院親睦会の新年会で授与した。また、受講者には名札ケースに入れられるよう、名刺サイズの研修修了証(下図)を交付した。

なお、当該研修事業は、院内医療安全の取り組みとして、「医療安全全国共同行動」に報告し、ホームページに掲載された(<http://kyodokodo.jp/seika/seikahoukoku2.php>)。

このほか、院内有志で運営されていた日本救急医学会 ICLS 講習会事業を臨床研修センター事業とし、運営の円滑化を図ることができた。

ICLS 開催回数:1 回、受講者:24 名。



### <院内せん妄対策研修事業>

せん妄に対する共通理解と標準対応を院内で共有するための研修を実施した。医師 1 名、看護師 5 名よりなるタスクフォースを構築し、標準治療を作成し、レクチャー形式で院内提示した。タスクフォースは引き続き、医療の質・安全管理室と協力してせん妄対策の適正化にあたっている。

## 【表彰事業】

研修事業に功績のあった職員を表彰する制度を制定した。今年度は、AED・BLS 事業に功績のあった吉田修看護師と、当院の初期研修広報に功績のあった城田あゆみ研修医を表彰した。

## 【インターネット情報交換活動】

「Facebook:大津市民病院臨床研修センター」を利用して、即時性の高い情報交換を実施することとした。